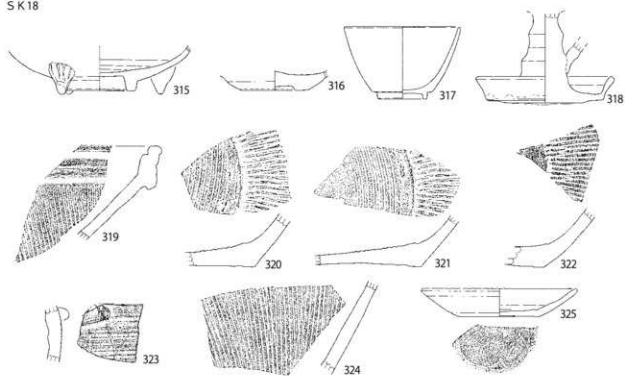
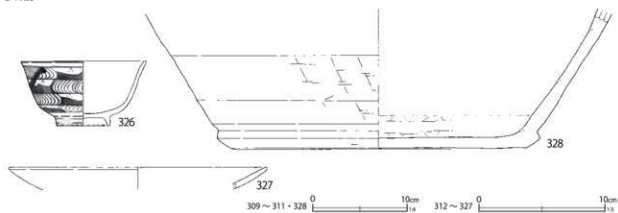


SK18

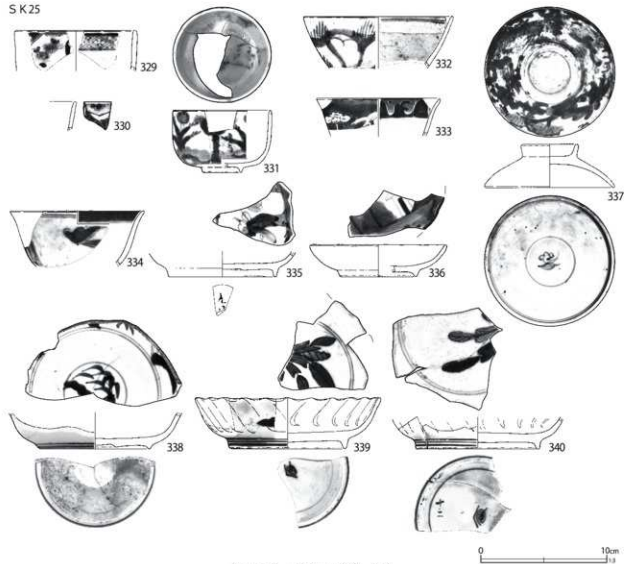


SK23



第143図 土壙出土遺物(20)

SK25



第144図 土壌出土遺物(21)

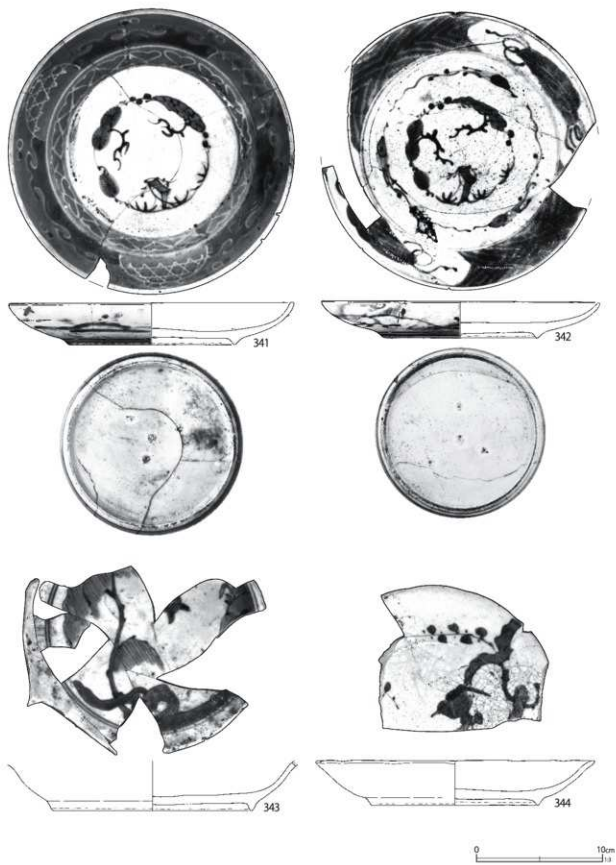
6枚・文久永宝1枚・雁首銭1枚が含まれる。銭種の構成等については第81表に示す。第270図13は材質不詳の櫛で、赤・黒で模様を描かれる。骨角製品であろうか。陶磁器(第148図395~405)は、磁器湯呑形碗(396)が多い。酸化コバルト染付製品が見られないことや文久永宝の出土から、1860~1870年代頃の廃絶と推定される。

第30号土壌(第99図)

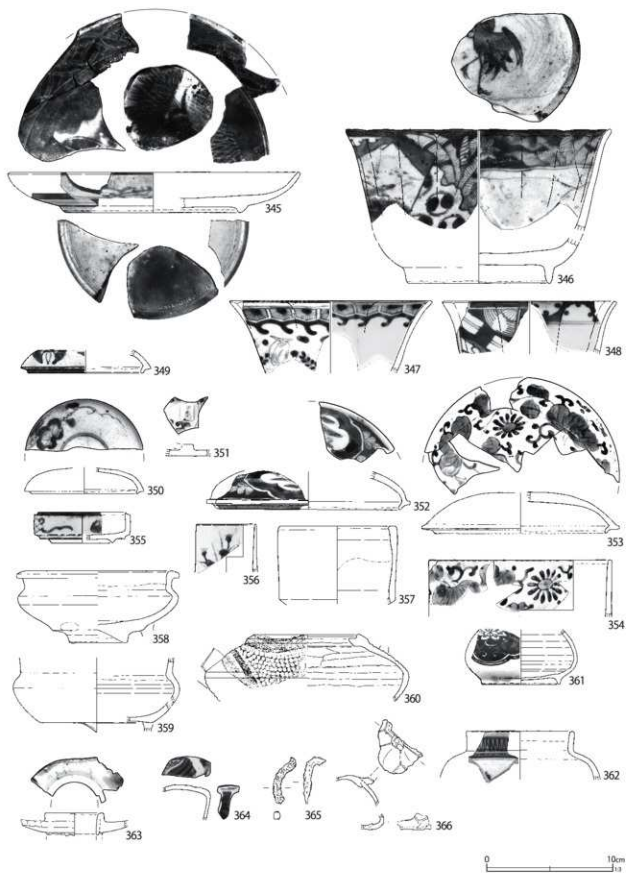
C6-B1・2グリッドに所在し、重複する第1号建物跡より新しい。東西に長大な火災処理土壌である。覆土下層は焼土主体の層で多くの瓦や陶磁器、木材が混在する。上層は均質な土で被覆

するように埋め戻される。

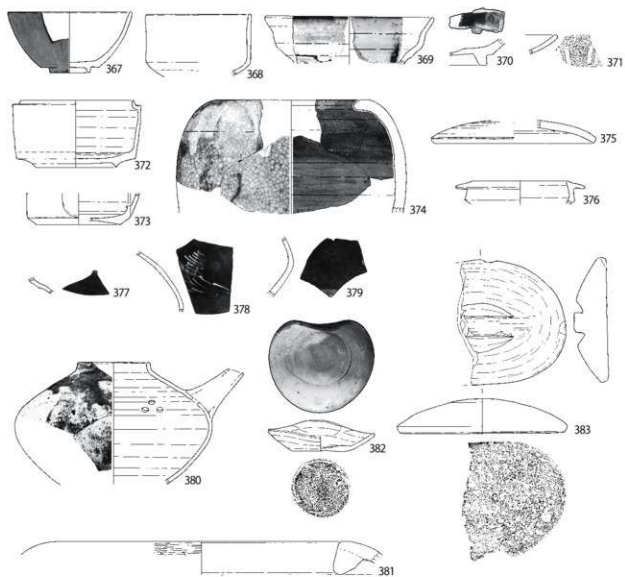
第149~156図406~470は陶磁器で、強く被熱する。特に419~423の小皿は重なった状態で溶着している。425・426は中国清朝磁器とみられる皿で、外面は橙色に発色する上絵付、内面は紺色の単色釉に金彩で精緻な上絵付を施す。裏銘は「大明乾隆年製」である。425の高台に瑠璃釉の付着がみられ、426の見込みの環状剥離痕と径が一致することから、両者が重ねられた状態で被熱したことが分かる。427~435・437~446の皿も溶着した状態であったと思われる。前者は径19cm程の皿9枚で、第2号土壌(第126図35)に



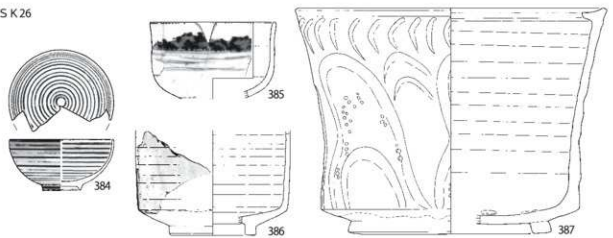
第 145 図 土城出土遺物 (22)



第 146 图 土坑出土遗物 (23)

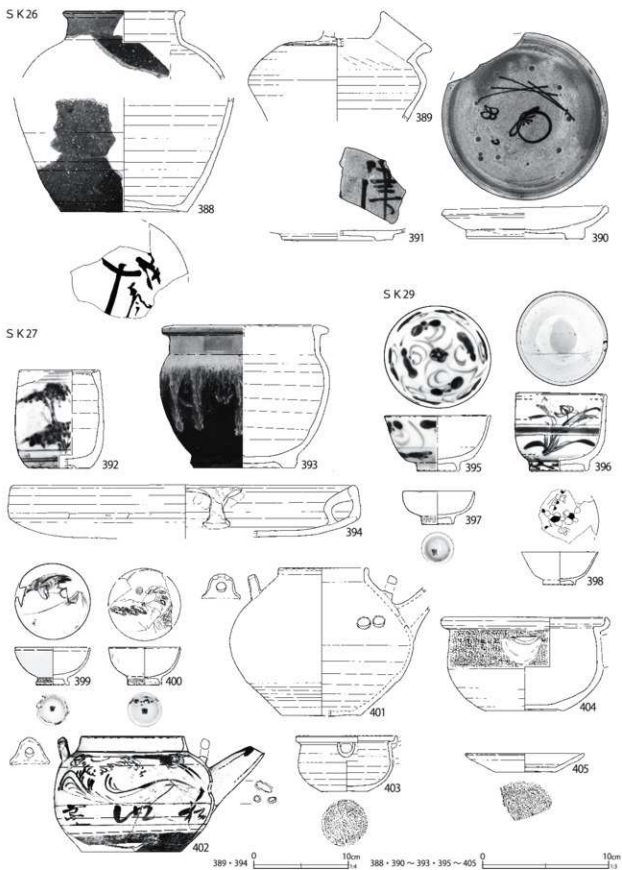


S K 26



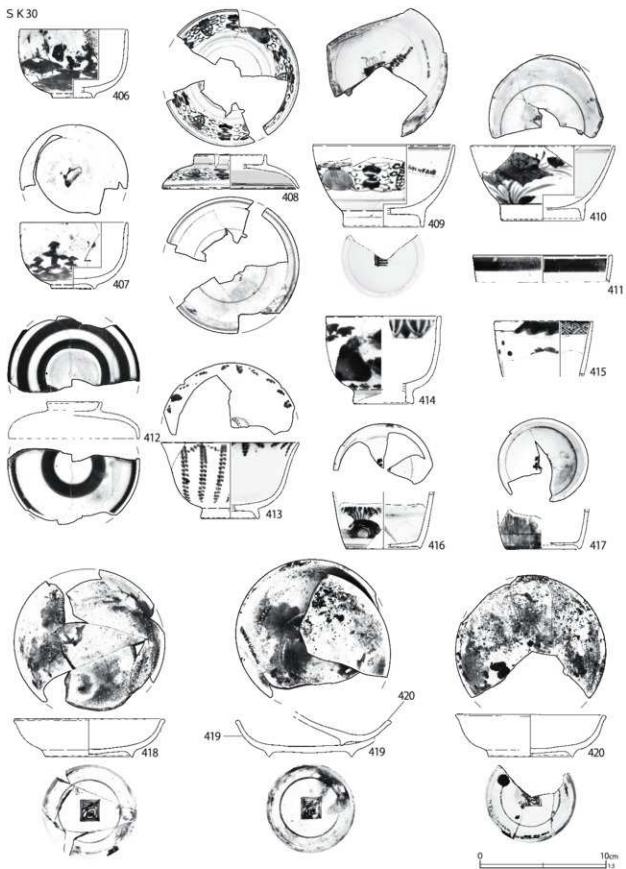
374・381・387 0 10mm 1/4 367～373・375～380・382～386 0 10mm 1/3

第147図 土壇出土遺物(24)

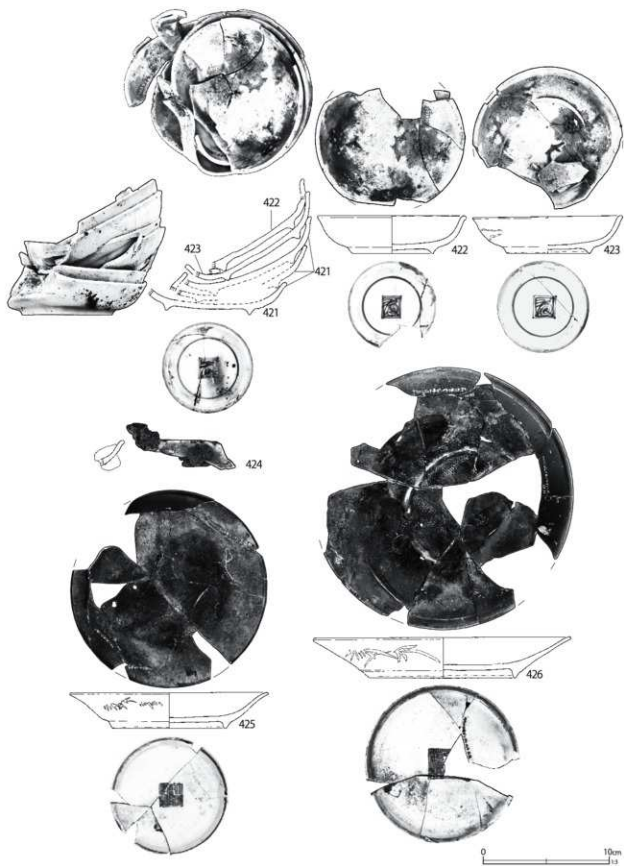


第148图 土坑出土遗物(25)

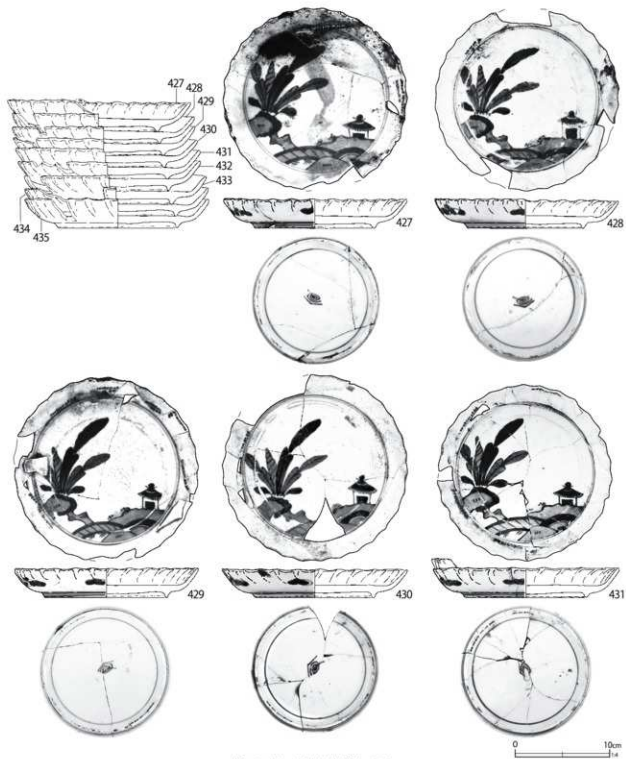
S K 30



第149図 土坑出土遺物(26)



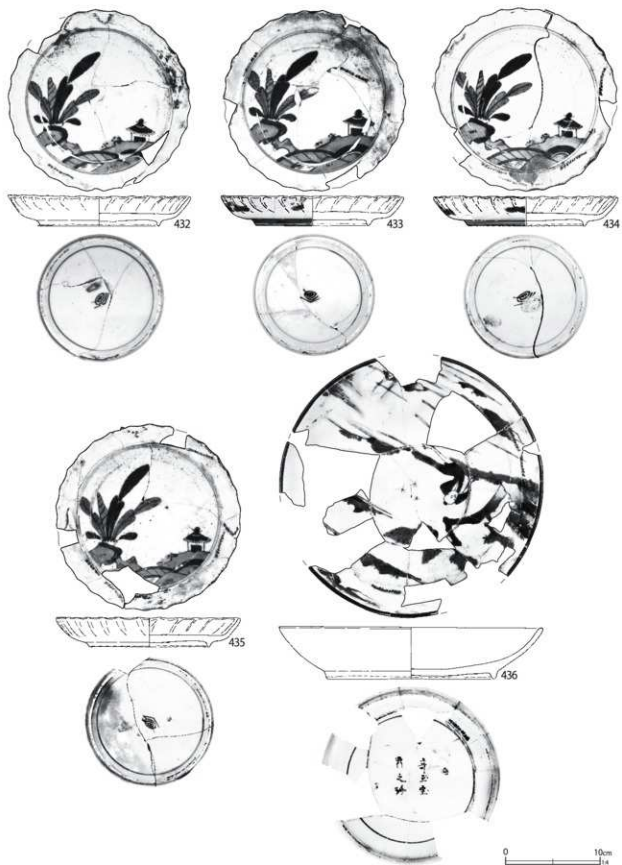
第 150 图 土城出土遺物 (27)



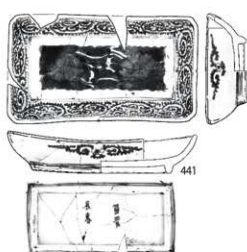
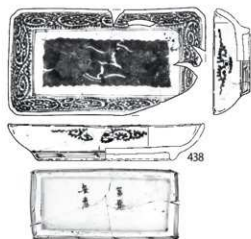
第151図 土壙出土遺物 (28)

同文の皿がみられるほか、第25号土壙に一回り小さい同文の皿（第144図339・340）がみられる。後者は長皿10枚で、同文の資料は『本陣跡Ⅰ』で報告した火災土壙（第301号土壙）で一枚出土しているが、本陣跡では他に出土例が無い。414

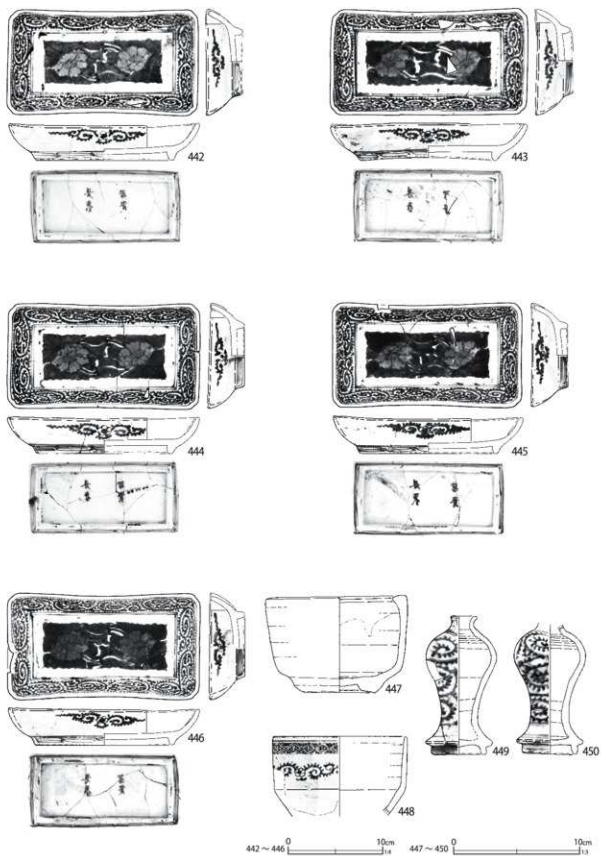
は瀬戸美濃系磁器の大振りの湯呑形碗で、別模様だが同形の例が、やはり第301号土壙から出土している。第156図465は備前系陶器と考えられる行平で、464は蓋である。いずれも被熱して大きく歪む。把手下に「九」の刻印がある。第229



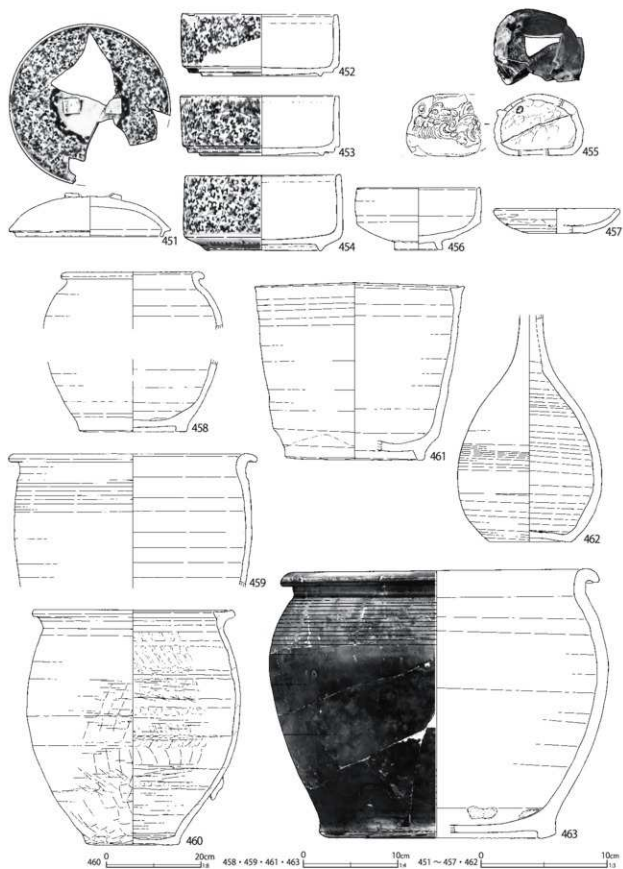
第 152 图 土坑出土遗物 (29)



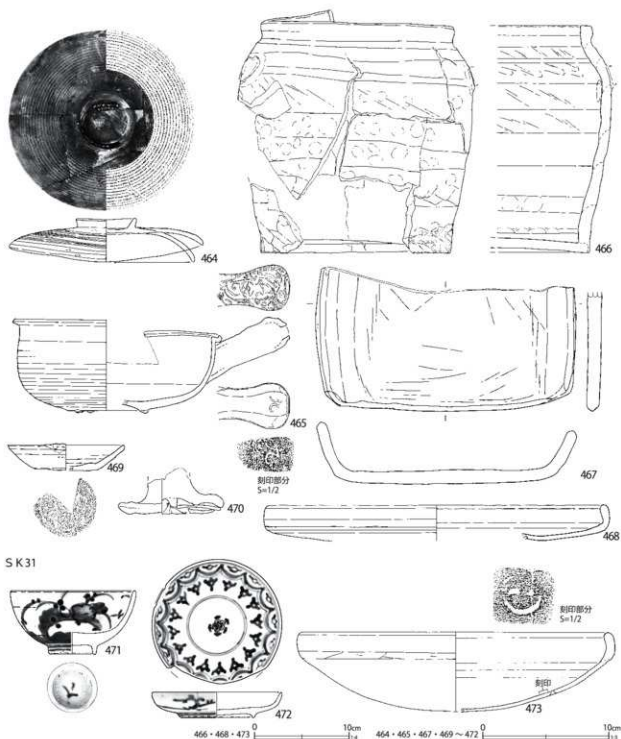
第 153 图 土坑出土遗物 (30)



第154图 土坑出土遗物(31)



第155図 土壇出土遺物(32)

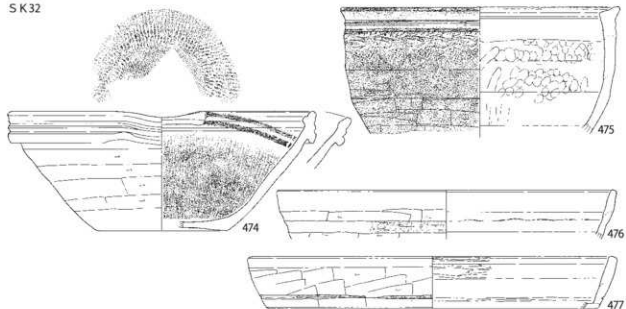


第156図 土壌出土遺物 (33)

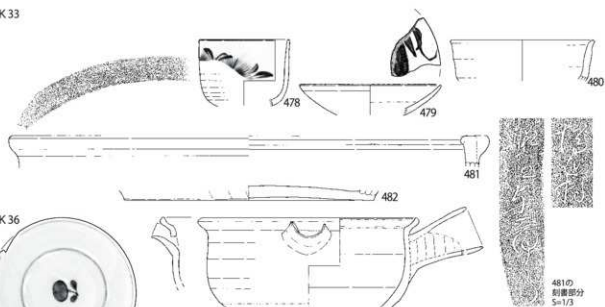
～230図35～43は軒瓦で、40・41は大阪式である。瓦当面の模様は37と同文のものが主であった。この傾向は第2号土壌と共通する。第238～239図43～60はその他の瓦である。第255図26は銅製品の把手、第260図10・11は石製硯、第270

図3は硝子製品髪飾り類である。第265図102は軟質礫を含む安山岩製の焜炉で、類例は第301号土壌（『本陣跡1』第217図46）から出土している。陶磁器の年代や、第301号土壌との組成の比較から、文政5年の火災に関わる土壌である可能

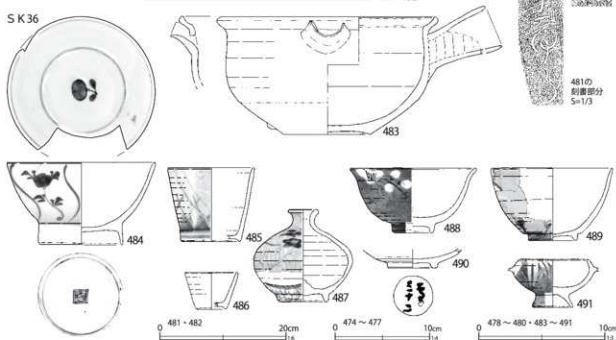
SK32



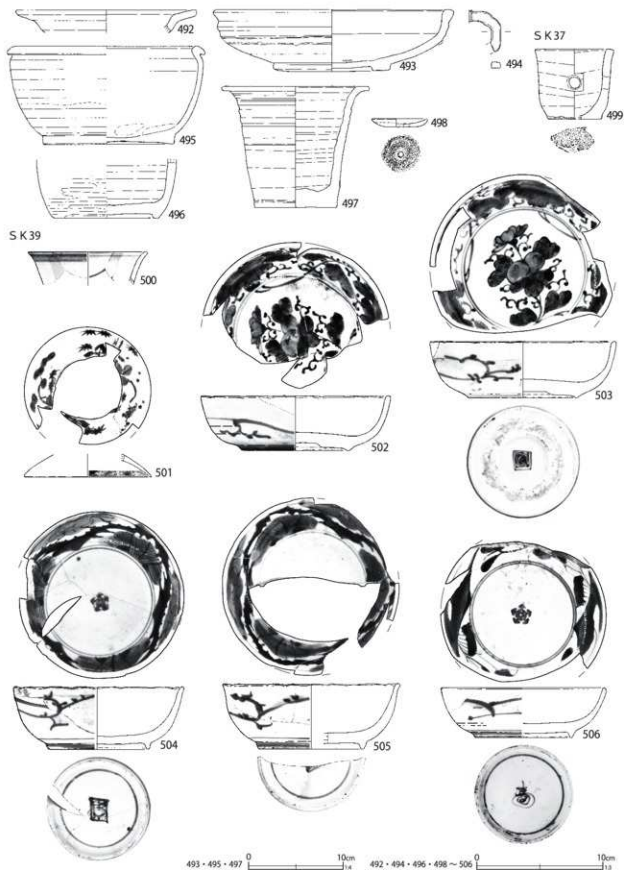
SK33



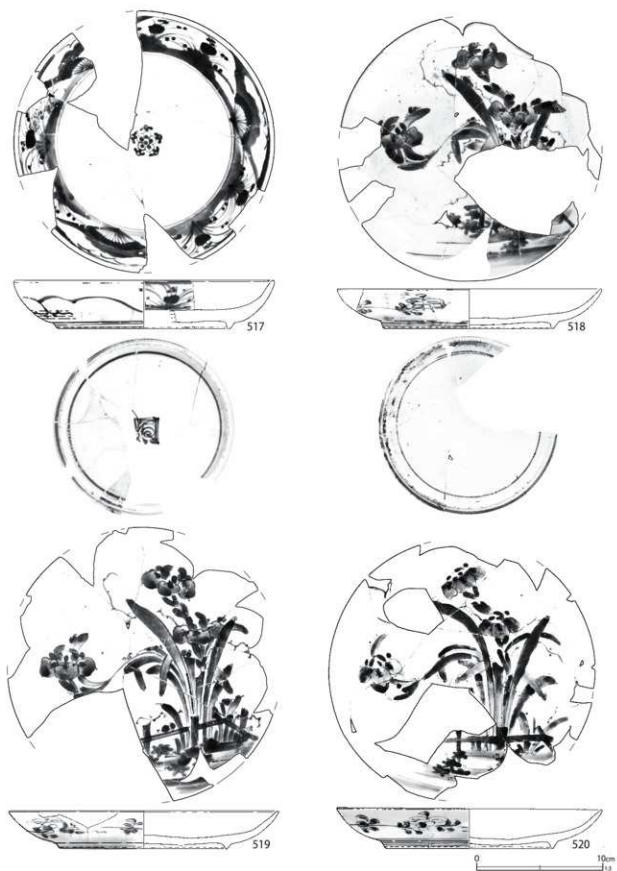
SK36



第157図 土壇出土遺物(34)



第 158 図 土壙出土遺物 (35)



第160图 土坑出土遗物(37)



第161図 土壌出土遺物 (38)

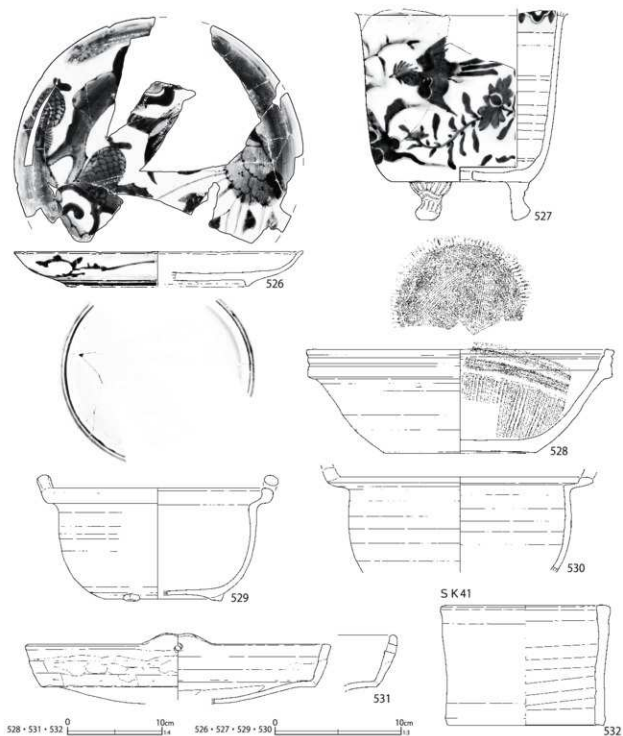
性が高い。

第32・33号土壌 (第100図)

C 6-B 2 グリッドに位置し、重複する。

長楕円形の第32号土壌は、覆土下層が焼土・炭化木主体層で、上層は砂質土で埋め戻される。火災処理土壌と考えられる。第157図474～477に陶磁器を示す。

第33号土壌は、第32号土壌を掘り込む円形の土壌で、底面に真壁産土器甕の底部が遺存していた。本来は埋甕であった可能性が高い。第157図478～483は出土した陶磁器で、482が底面に遺存していた土器甕の底、481はその口縁部と思われる。他にも同一個体の胴部破片が多く出土したが、全体の接合に至らなかった。481の口縁部に



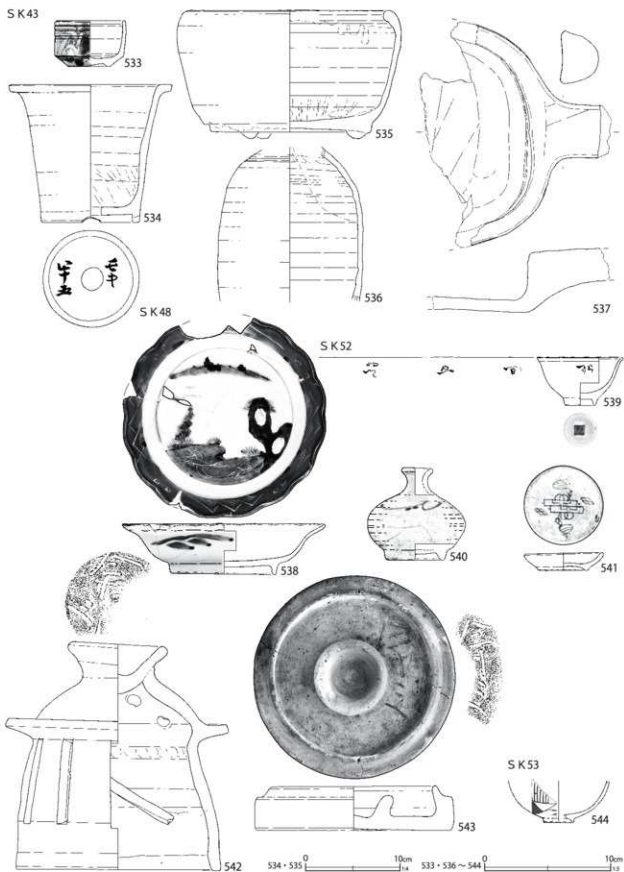
第162図 土壙出土遺物(39)

は「塙世村脇屋与二郎右衛門」とヘラ書きされる。茨城県桜川市(旧真壁町)の塙世は、隣接地区の源法寺とともに源法寺焼と呼ばれる真壁焼の産地であり、生産者の屋号と名を記したものと思われる。483は全体に糠白釉の掛かる陶器行平

で、大堀相馬系陶器と推定される。最新期の磁器は478の湯呑形碗で、酸化コバルト磁器は含まない。19世紀中葉の遺構と思われる。

第36・111号土壙(第102図・108図)

B6-J2・C6-A2グリッドに所在し、重

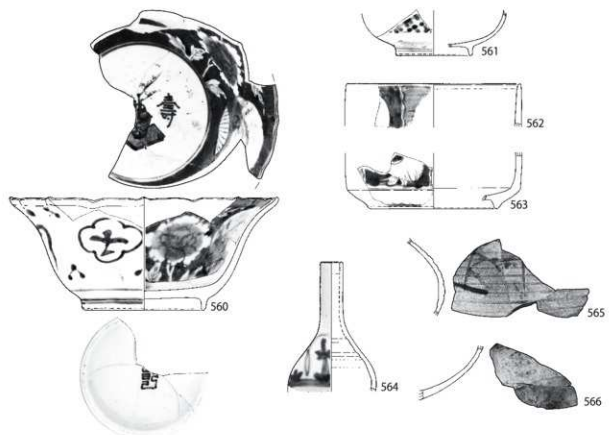


第163図 土壇出土遺物(40)

S K55



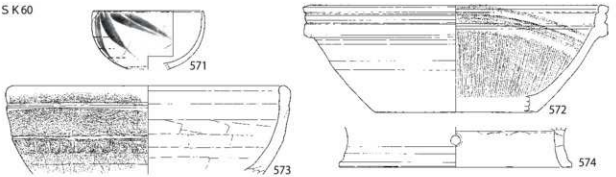
第164図 土壙出土遺物(41)



S K 58



S K 60



569・570・572～574 0 10mm 560～568・571・573 0 10mm

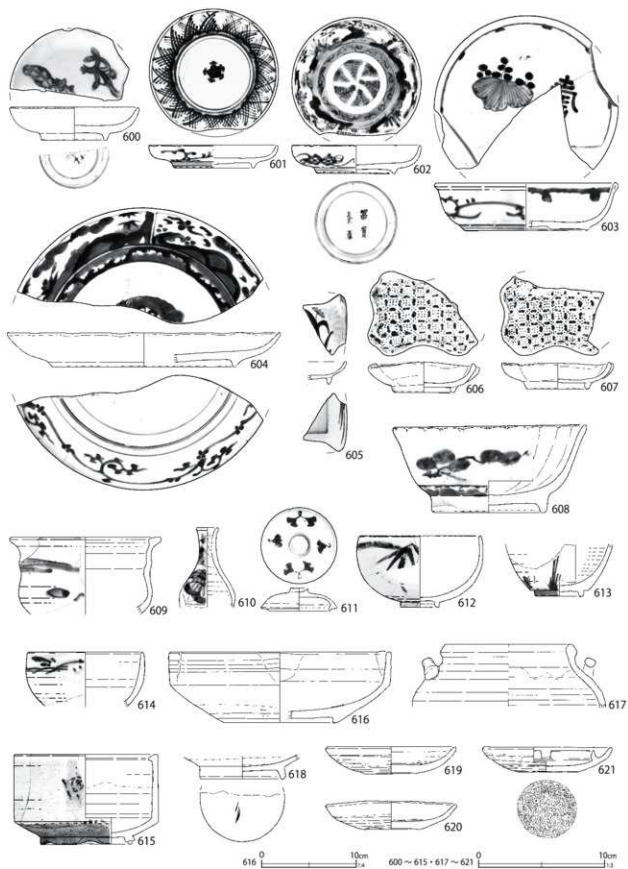
第 165 図 土壇出土遺物 (42)



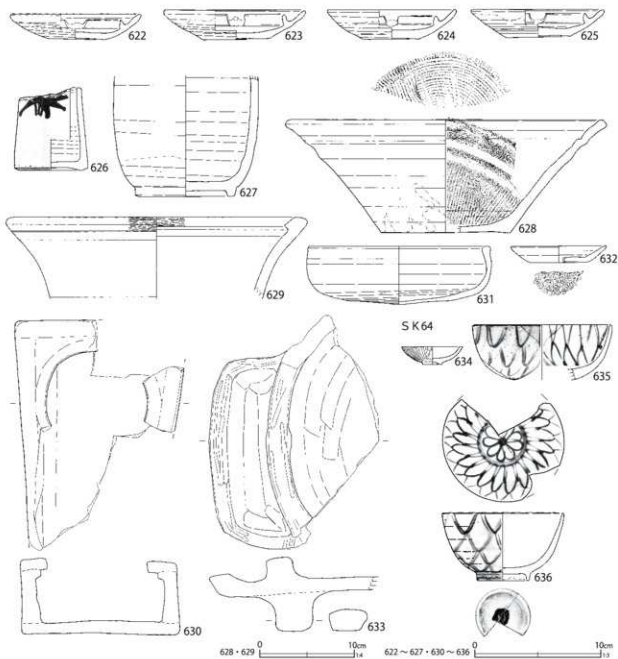
第166図 土壌出土遺物(43)

複関係にある。第36号土壌は長軸6mの長大な火災処理土壌である。第111号土壌はその下から検出された土坑で、木組みが認められる。長軸2.21mの不整形土壌である。第36号土壌の覆土は焼土ブロックと瓦を含み、出土したほぼ全て

の遺物が被熱している。陶磁器全体としては肥前系磁器の広東碗・筒形碗、京都信楽系陶器の半球碗が多い。筒形碗には体部中位に鏽軸の横帯を巡らすのがみられる。第157・158図484～498は出土した陶磁器の一部である。491は双耳状の突



第167図 土壙出土遺物(44)



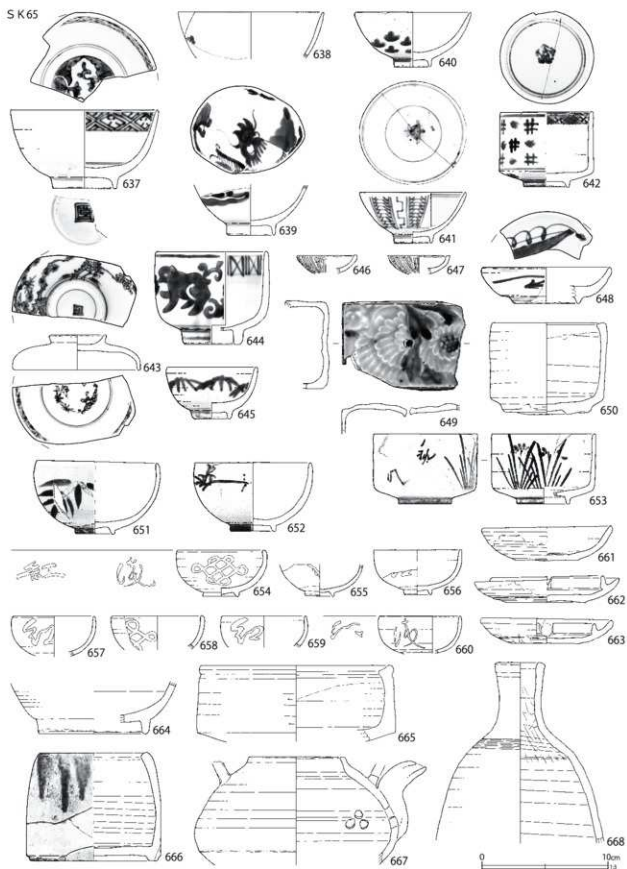
第168図 土壌出土遺物 (45)

起が付く脚付きの器種で、外面に上絵付けが施される。京都信楽系陶器である。第230図44は軒棧瓦、第260図15は砥石である。陶磁器様相や第111号土壌との新旧関係から19世紀前葉の掃属で、文化・文政期の火災に伴う可能性が高い。

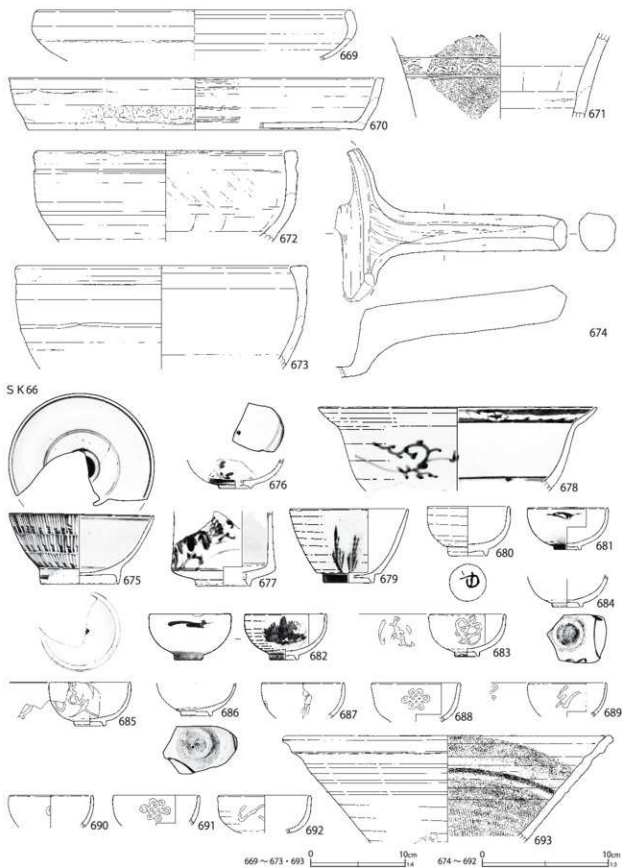
第111号土壌はこれより古い遺構である。掘方内には四周の壁に横板材が残り、南壁では二段分、他の壁では一段分遺存する。本来は全体に二段以

上の板材があった可能性がある。西壁板材の上端面には埋め釘が15~18cm程の間隔で残っていた。板材は杭で内側から押さえていたらしく、杭は遺存していなかったが、腐食した杭の痕跡が掘方下面と覆土中に残っていた。構造は第1号土壌に類似し、地下蔵の一種と思われる。

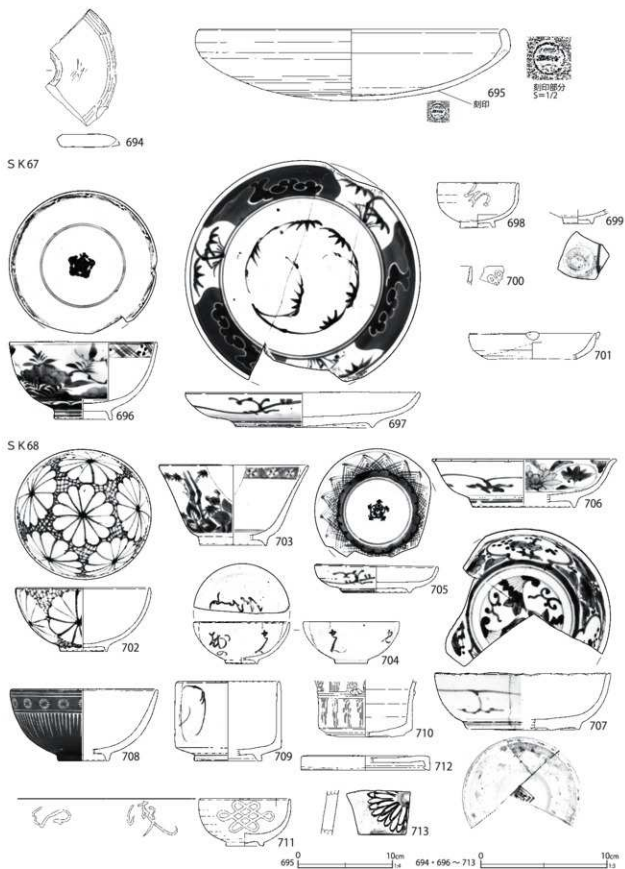
第182・183図862~885は出土した陶磁器類である。864の瀬戸美濃系磁器端反碗が最新期の遺



第 169 図 土壇出土遺物 (46)

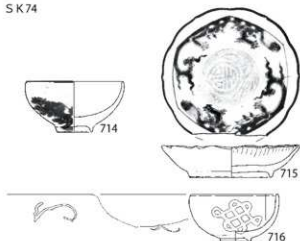


第170图 土坑出土遗物(47)

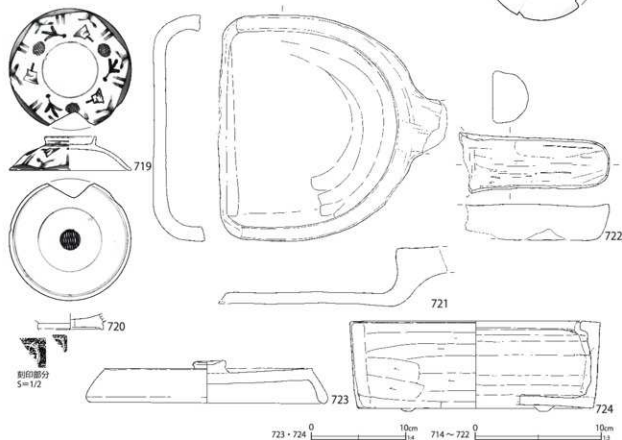
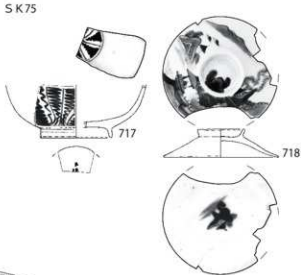


第171图 土城出土遺物(48)

SK74



SK75

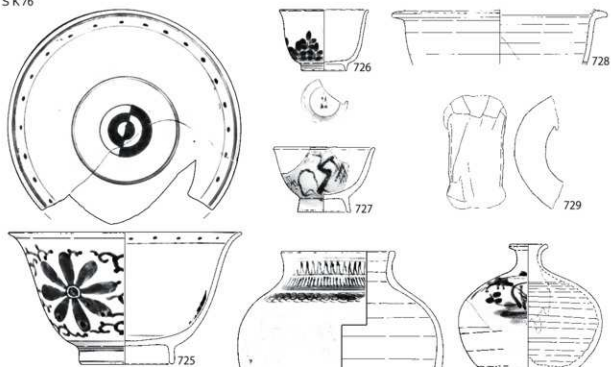


第172図 土壙出土遺物(49)

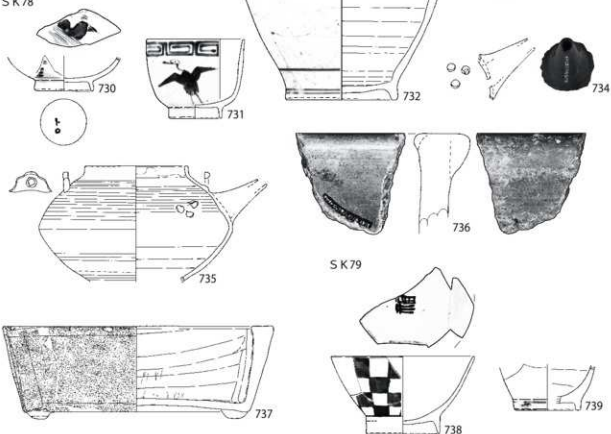
物で、他に肥前系磁器八角鉢が確認される。868は鴛鴦を模す磁器水滴である。870は大塚相馬焼の坏で、内面に鉄絵で馬を描く。871は萩焼の開口碗である。873は糠白釉が掛けられた陶器鉢類の口縁部とみられる。産地不詳だが、類似の陶器は第150号土壙からも出土している(第185図931)。883は小形の焙烙とみられる。882はさら

に小形だが、底部全面を回転ケズリすることや、第119号土壙出土例(第183図893・「楽」刻印あり)との類似から把手付鍋と考えられる。いずれも江戸在地系土器である。栗橋宿跡から出土する把手付鍋は大部分が在地系で、江戸在地系のものは僅かである。第225図10はミニチュアで土瓶を模す。第264図87は篆刻文字を刻みつけた甌石製

SK76



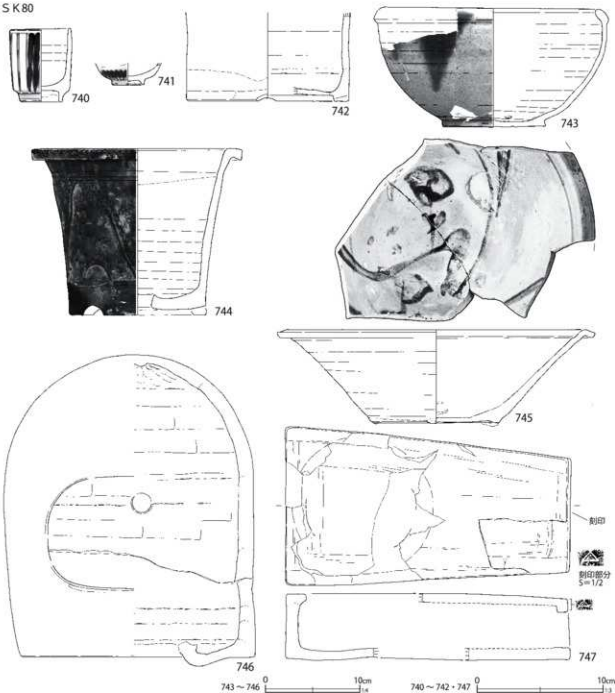
SK78



0 10mm 14 737 0 10mm 13 725 ~ 736 · 738 · 739

第173図 土城出土遺物 (50)

S K 80

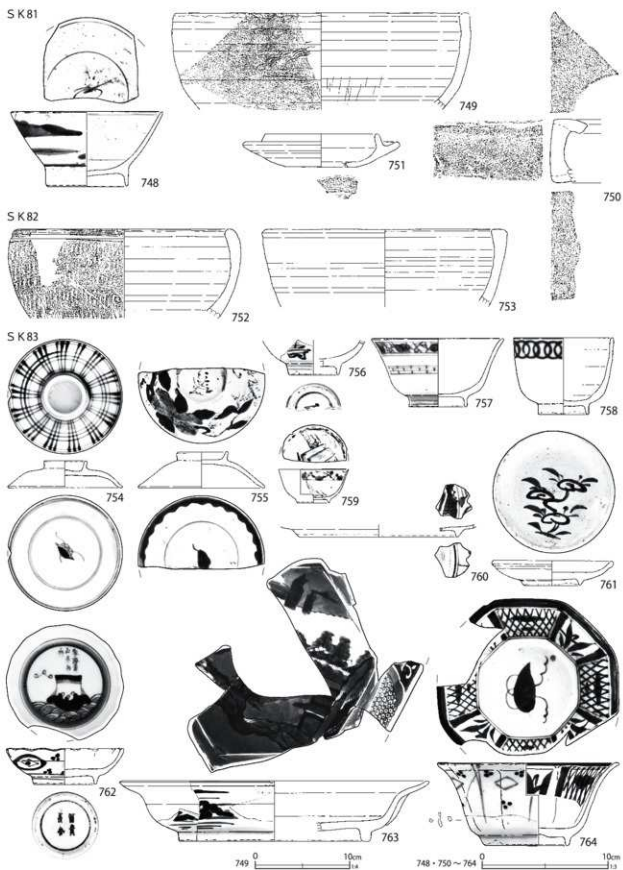


第174図 土壙出土遺物 (51)

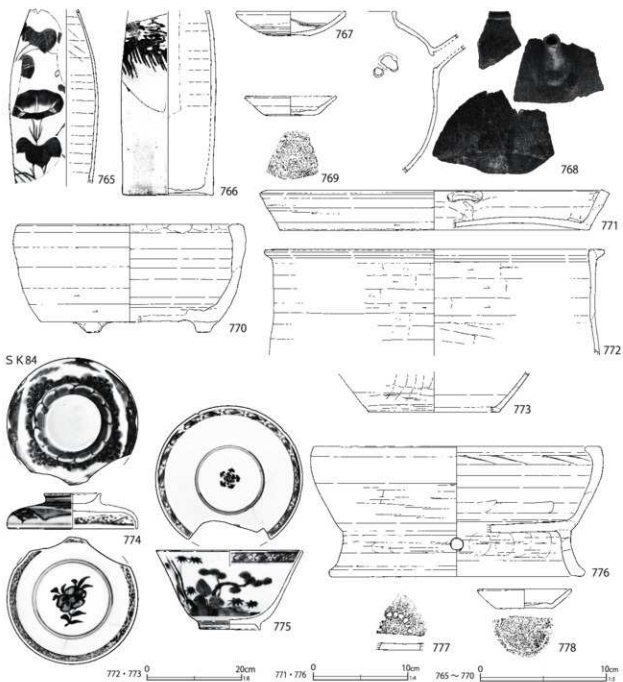
品で印章と思われる。両面に文字を刻み、その面に朱が遺存する。なお、覆土中からハマグリ、アワビが一定量出土しており、一部に被熱が認められる。貝類の分析結果は第V章-4に、分析資料を含めた数量は第80表に示す。重複関係から第36号土壙より古いのが、遺物の様相に時期差は見出せない。19世紀初頭～前葉に帰属する。

第39号土壙 (第100図)

C 6-A 2 グリッドに位置する楕円形の火災処理土壙で、覆土は焼土・炭化木主体層である。出土した陶磁器 (第158図～162図500～531) の多くは被熱しており、南へ大きく離れた池状遺構の出土陶磁器と顕著に接合した。最新期の磁器は500の被熱した瀬戸美濃系磁器端反碗で、第11号



第175図 土城出土遺物(52)



第176図 土壙出土遺物(53)

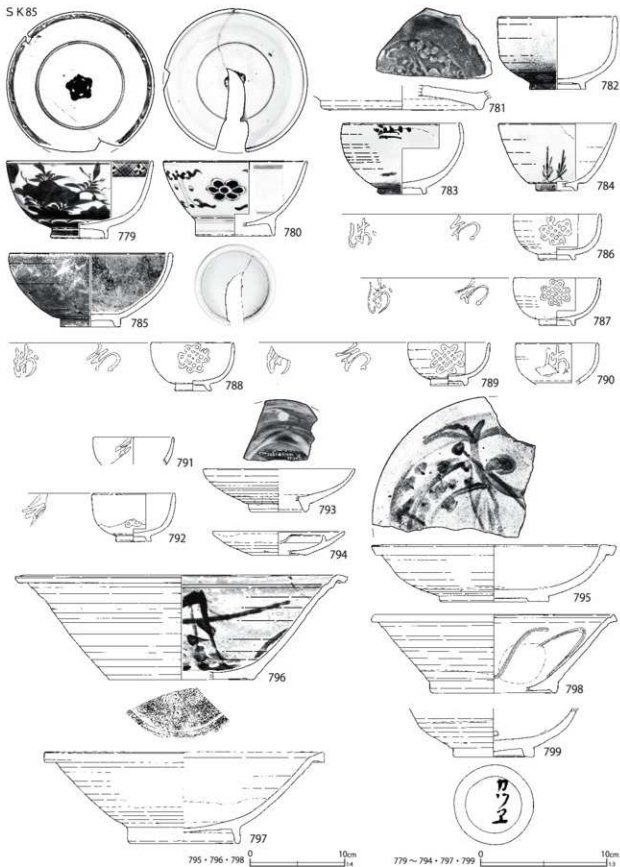
土壙の遺物と接合した。組物の皿類が多く出土したのが特色で、2個体以上の同形同文の磁器皿は原則図示した。515・516の皿と518～524の磁器皿は、他の遺構に同文資料が見当たらない。527の瀬戸美濃系磁器植木鉢は表採の大破片と接合しており、後世の混入であろう。531は板状の耳が付く焙烙で、栗橋宿跡での類例は極めて少ない。

被熱遺物は19世紀前葉までのもので、文化・文政期の火災処理に伴う土壙と推定される。

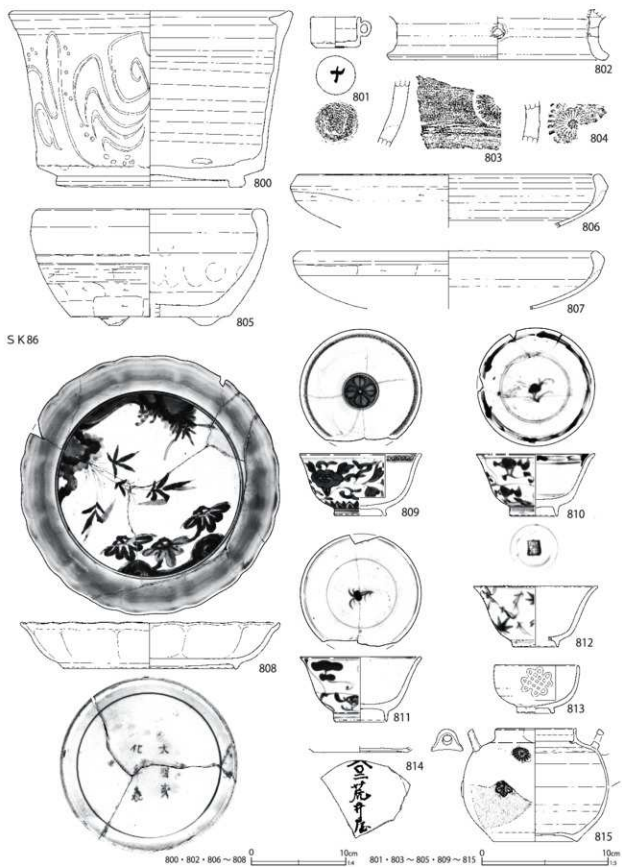
第55号土壙(第103図)

C6-A1グリッドに位置する。長軸1.14mとやや小形の火災処理土壙である。瀬戸美濃系磁器端反碗と蓋(第164図549～554)の複数個体に被熱が認められる。肥前系磁器八角鉢(558・

SK 85

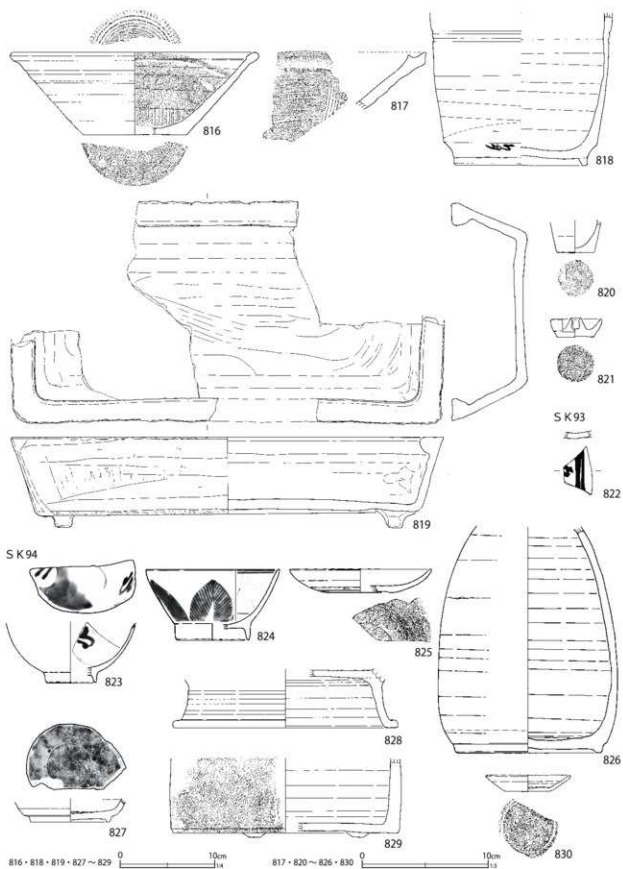


第177図 土城出土遺物 (54)



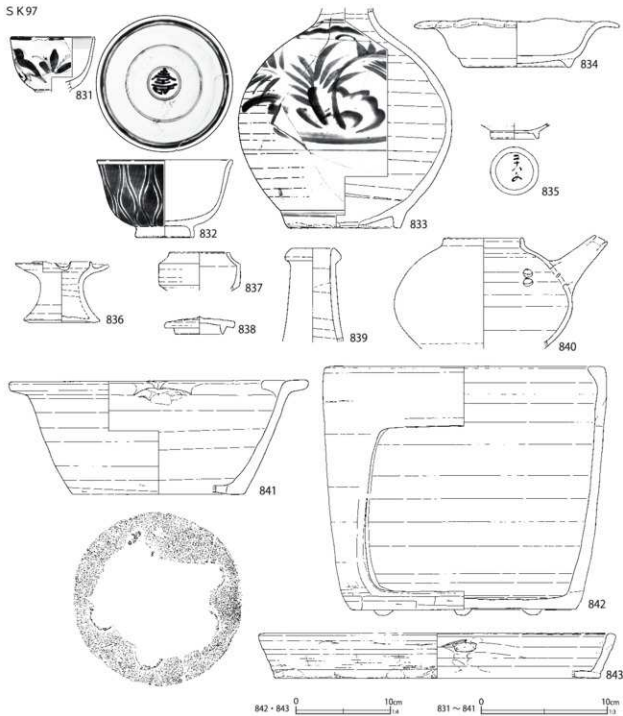
S K 86

第 178 图 土城出土遺物 (55)



第179図 土城出土遺物 (56)

SK97



第180図 土壇出土遺物 (57)

559) の被熱個体も多い。磁器に多角形の鉢が多い点は第25号土壇の様相と共通する。

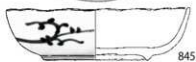
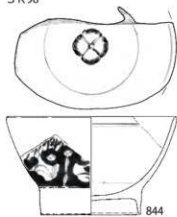
出土遺物より19世紀前葉の火災に伴う土壇と考えられる。

第65号土壇 (第103図)

C 6-A 2・B 2 グリッドに位置する。楕円形

に近い不整形の土壇である。第144号土壇と重複し、本跡が新しいことが土層で確認されているが、第144号土壇にはかなりの近代遺物が混在しており、両者の遺構形状・範囲には疑問も残る。なお、本跡にも若干の近代陶磁器が含まれ、遺構範囲に攪乱が存在した可能性がある。

S K 98

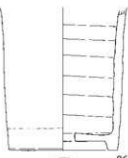
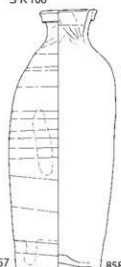
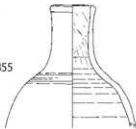


S K 100



S K 106

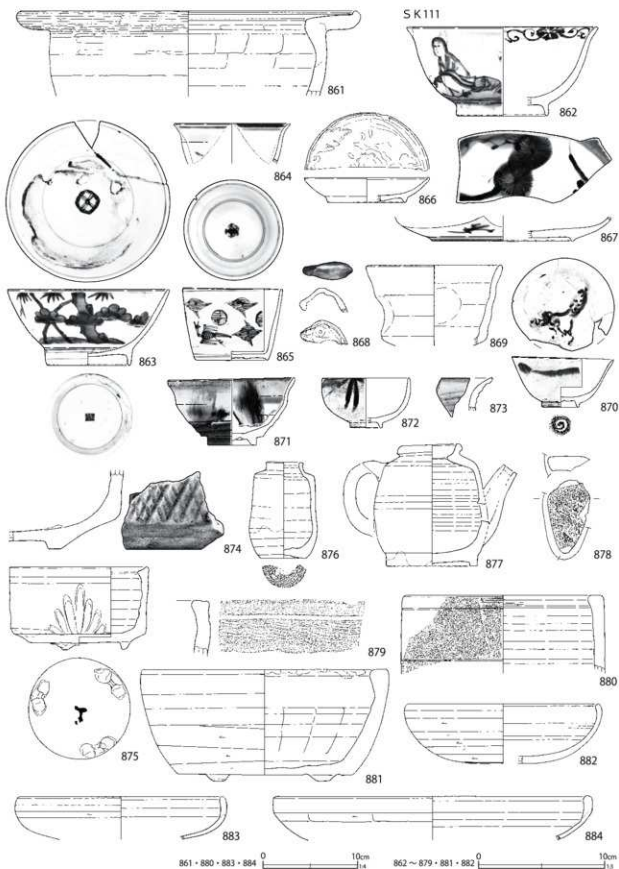
S K 101



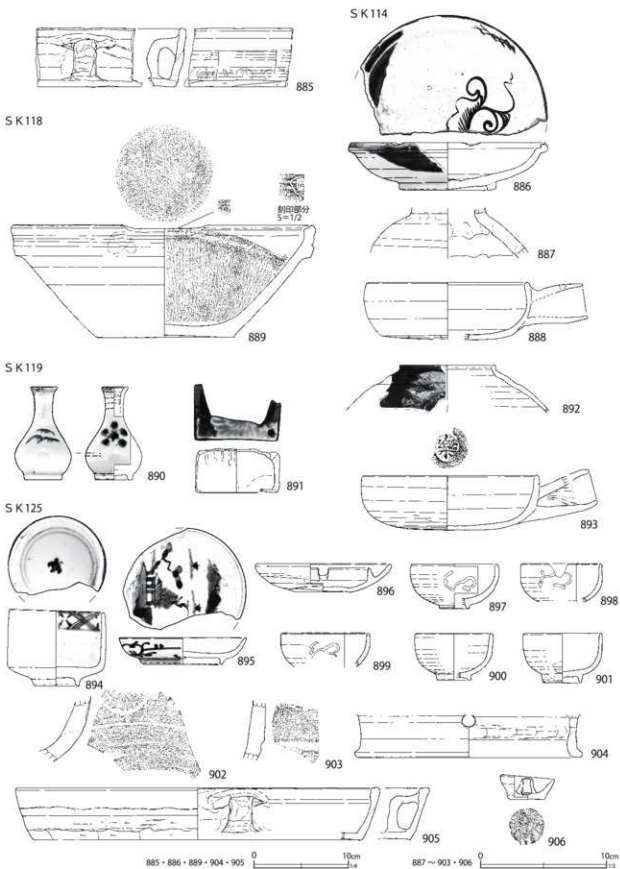
0 10cm

0 10cm

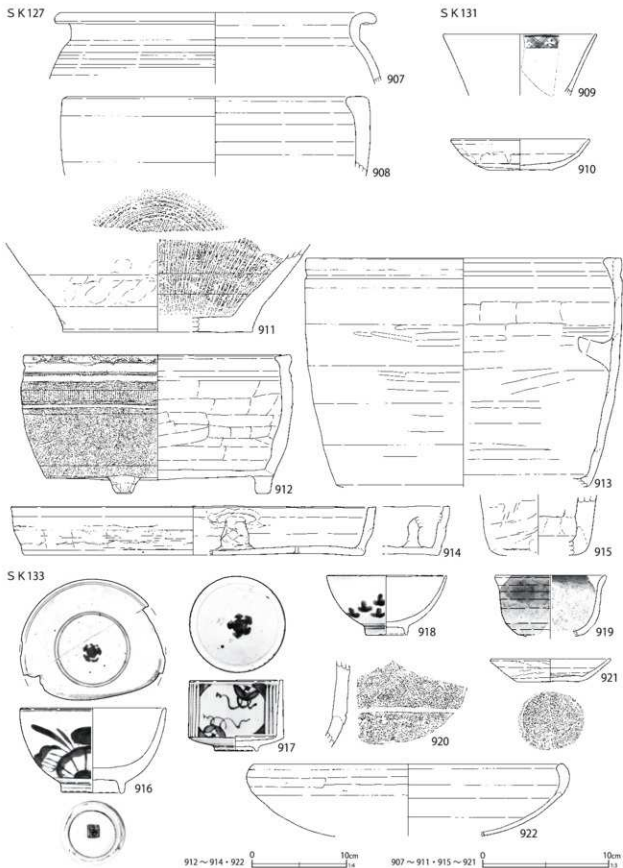
第 181 図 土城出土遺物 (58)



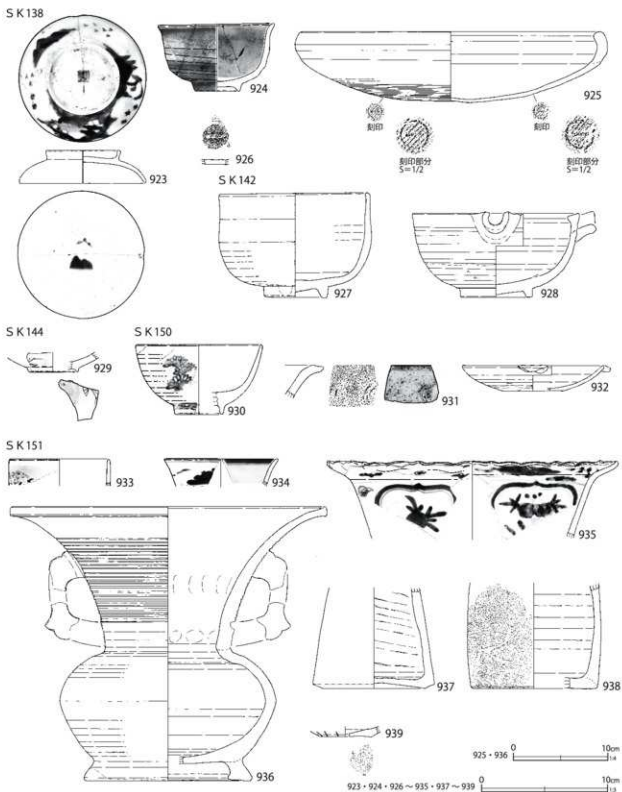
第182図 土壙出土遺物(59)



第183図 土城出土遺物 (60)



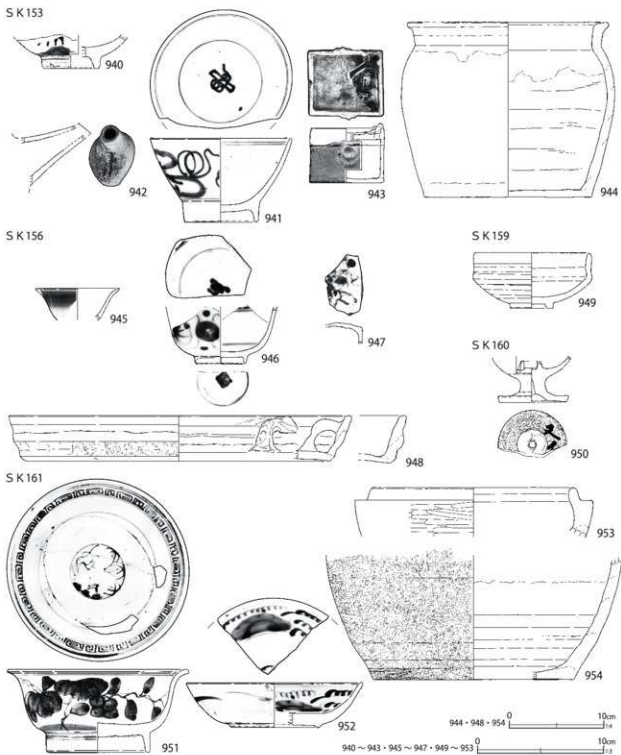
第184図 土壙出土遺物(61)



第185図 土壇出土遺物 (62)

第169・170図637～674は出土した陶磁器で、瀬戸美濃系磁器に大振りの湯呑形碗(644)がある。654～660に示した「紅浅」銘上絵付けの京

都系陶器が多い。第226図6は薄い環状の土製品で穿孔がみられる。外面周囲には太鼓の鉦のような表現がある。第245・246図84～112に木製品



第186図 土壌出土遺物 (63)

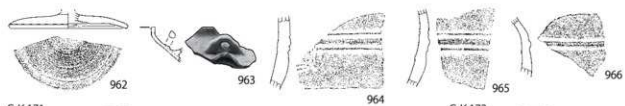
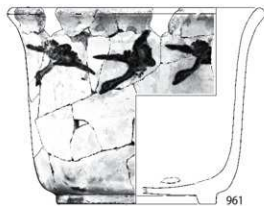
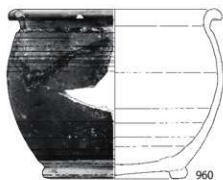
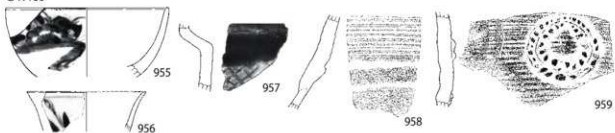
を示す。91の漆碗には黒漆で「本」と書かれる。同様の例は第76号土壌の漆碗にみられ（第247図136）、池状遺構出土の磁器皿にも「本」の墨書がある（第72図10）。

陶磁器の様相から19世紀初頭頃に帰属する。

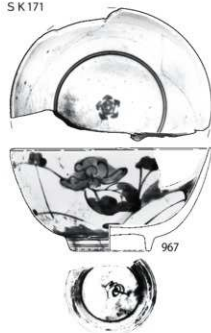
第75号土壌（第105図）

C6-A2・3グリッドに位置する方形の土壌で、覆土には板を中心とする木材が含まれる。陶

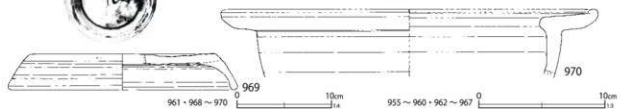
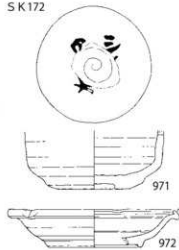
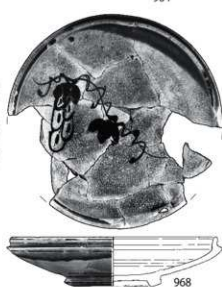
S K 166



S K 171



S K 172



961・968～970

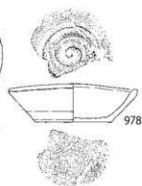
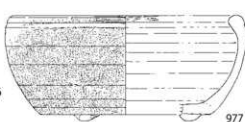
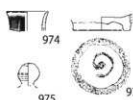
10cm
1/4

955～960・962～967

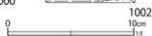
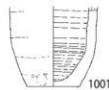
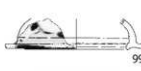
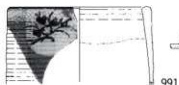
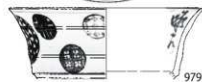
10cm
1/4

第 187 図 土城出土遺物 (64)

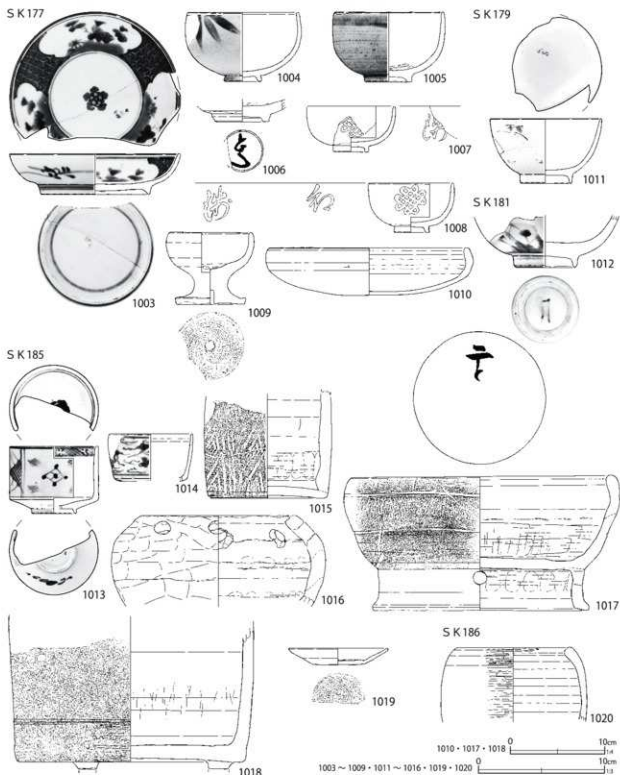
S K 175



S K 176



第 188 图 土坑出土遗物 (65)



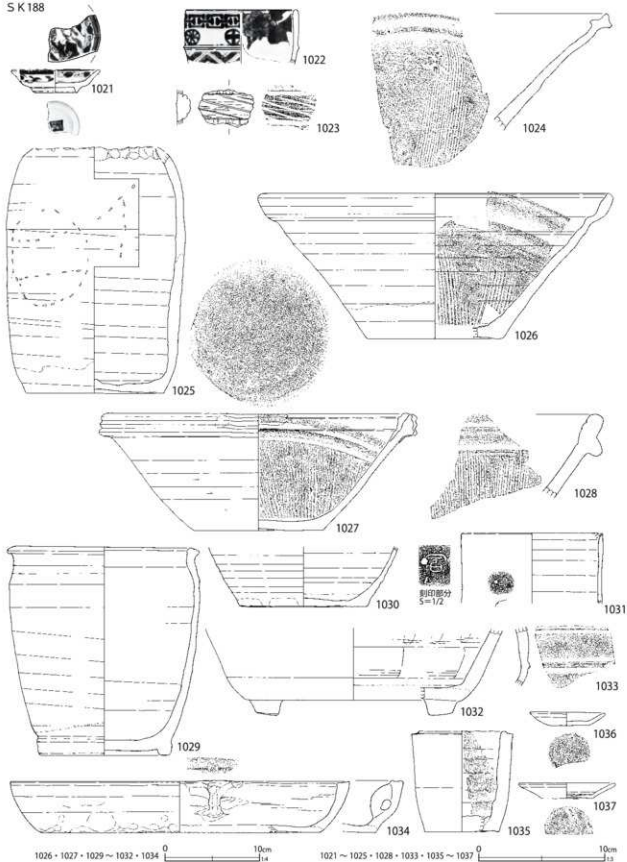
第189図 土壙出土遺物 (66)

磁器は瀬戸美濃系磁器の碗・蓋・坏や被熱した陶器青緑釉土瓶がみられたことから、19世紀前葉の遺構と考えられる。

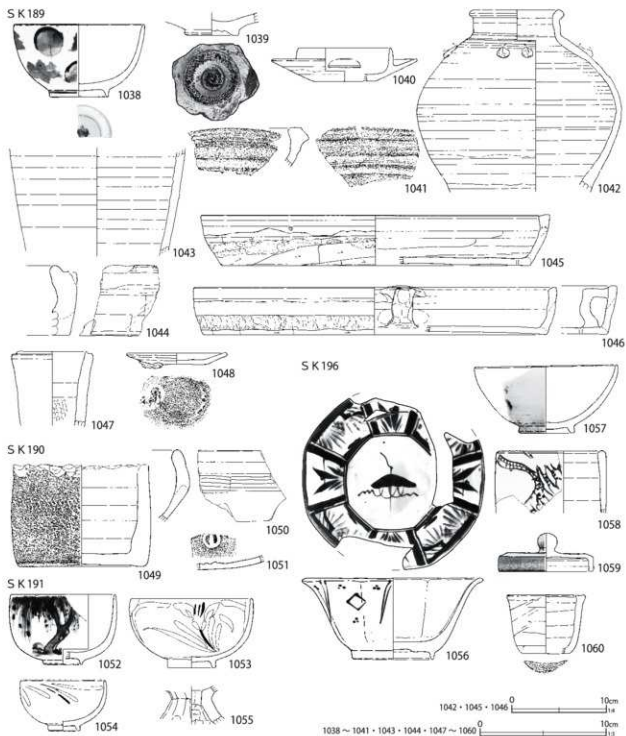
第172図717～724に出土した陶磁器の一部を示

した。第247図134は木製品の玉で髪飾り類と思われる。孔が貫通しており軸とは別作りと思われる。なお、玉と軸が一体化して彫刻されたものに第97号土壙出土例(第248図155)がある。第261

S K 188



第190図 土壙出土遺物(67)



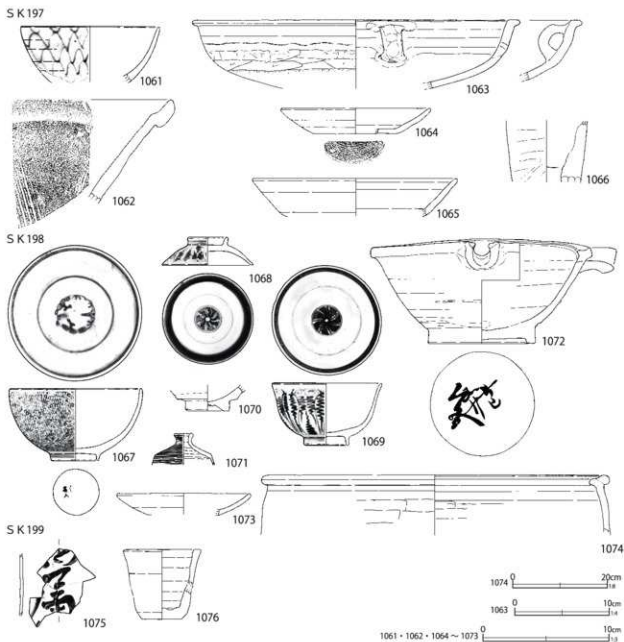
第191図 土壙出土遺物 (68)

図23は切石石材の破片で、刃幅の広い工具による成形時の加工痕が顕著にみられる。

第160・161号土壙 (第112図)

C6-B2グリッドに位置する東西に長い楕円形の土壙で、ほぼ平行して検出された。炭化物・

焼土を多く含む覆土 (写真図版20-6) から火災処理土壙と考えられる。第160号土壙の遺物はやや少なかった。第186図950に墨書のある陶器灯火具、第256図40に三角形の透孔がある銅製品を示す。第161号土壙からは被熱した陶磁器が出土



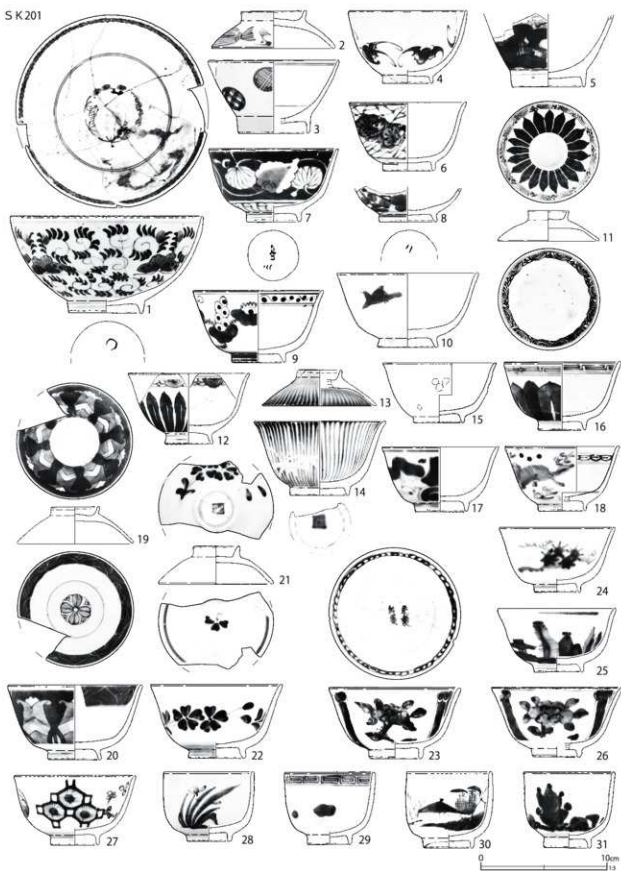
第192図 土壌出土遺物 (69)

した。第186図951～954に一部を示す。非掲載遺物に酸化コバルト染付燵の徳利があるが、後世の混在と考えられる。被熱遺物では陶器青緑釉土瓶等がみられ、文化・文政期の火災に伴うと考えられる。なお、第175号土壌と重複するが、重複関係に関する記録が無い。第175号土壌から文久永宝が出土していることや、陶磁器（第188図973～978）の様相から第160・161号土壌が古いと考えられる。

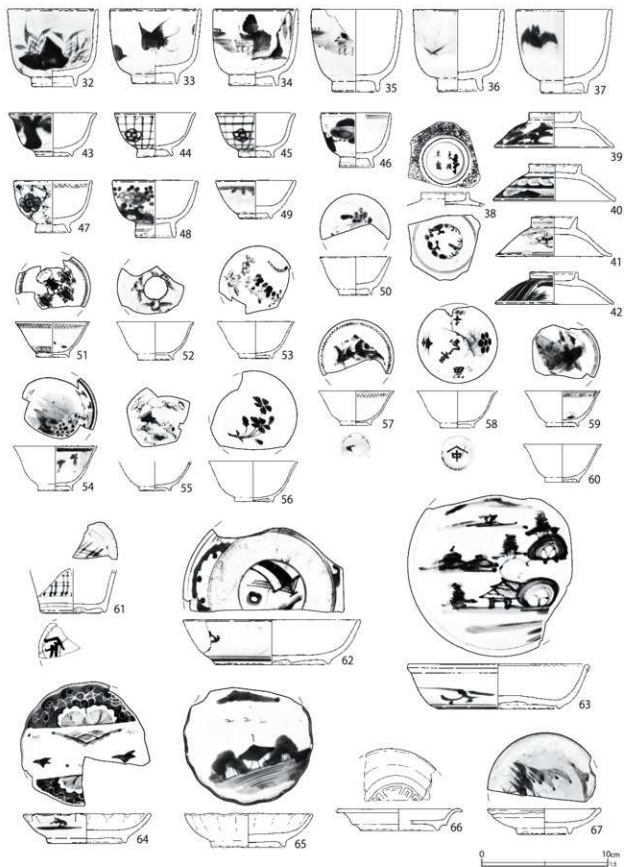
第188・189号土壌 (第111図)

本陣出入口部分に想定されるC6-C3～4、D3・4グリッドに位置する。第188号土壌は大型の長方形土壌である。覆土は東から流れ込む斜方向の堆積で、焼土とシルトが互層をなす(写真図版20-7)。被熱した壁土材が多量に含まれていた。なお、第3号溝跡の延長線上の覆土層に杭が打ち込まれているので、溝跡より古い土壌と考えられる。

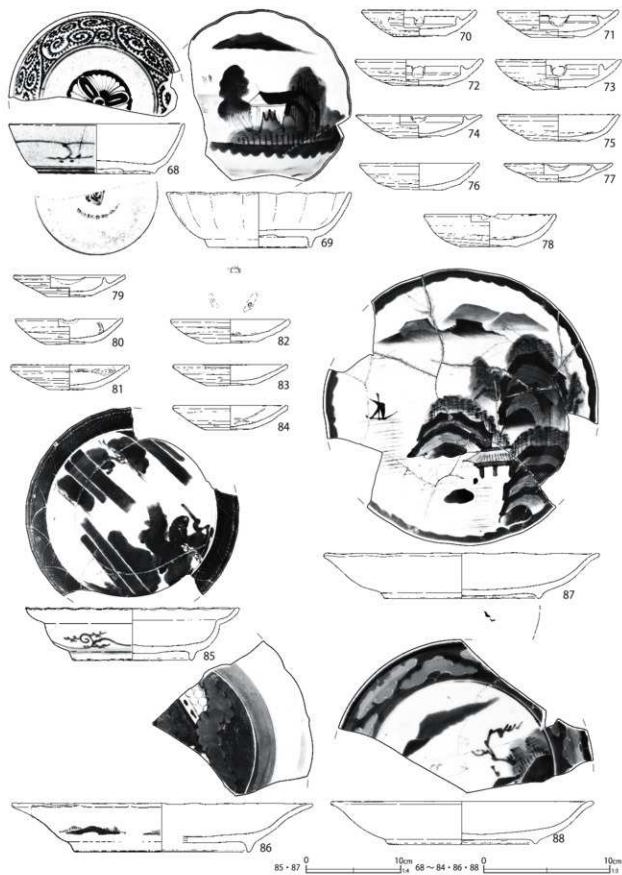
SK201



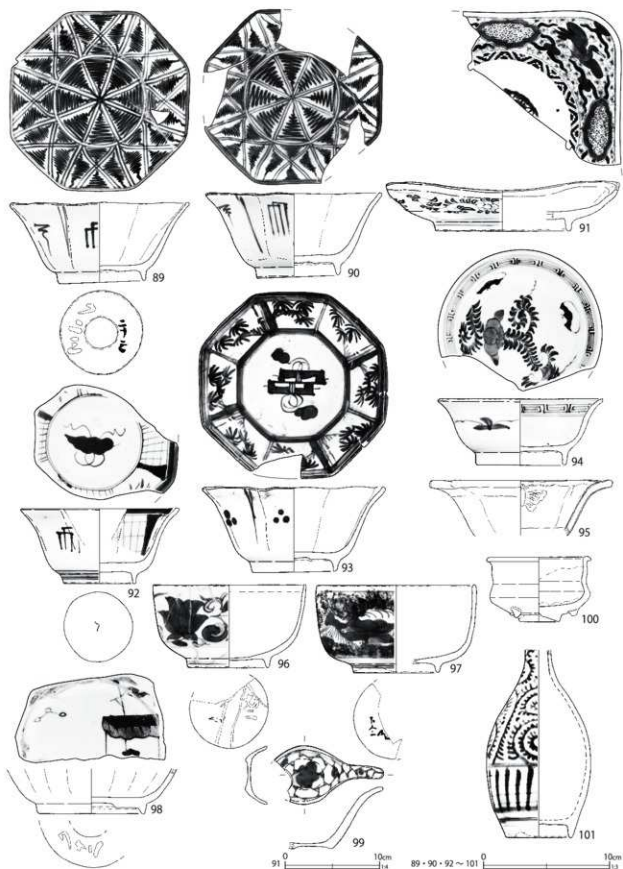
第193図 土城出土遺物(70)



第194図 土壙出土遺物(71)



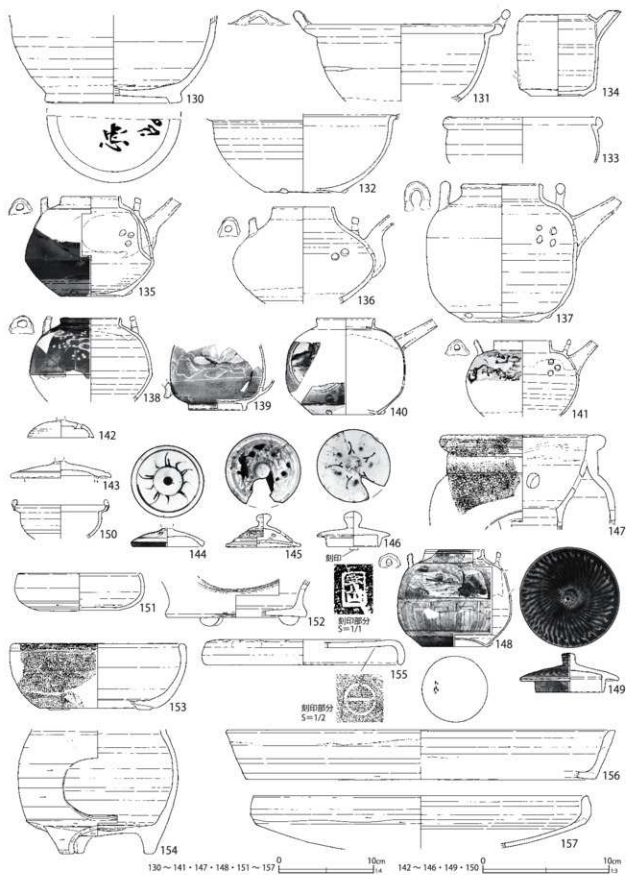
第195图 土城出土遗物(72)



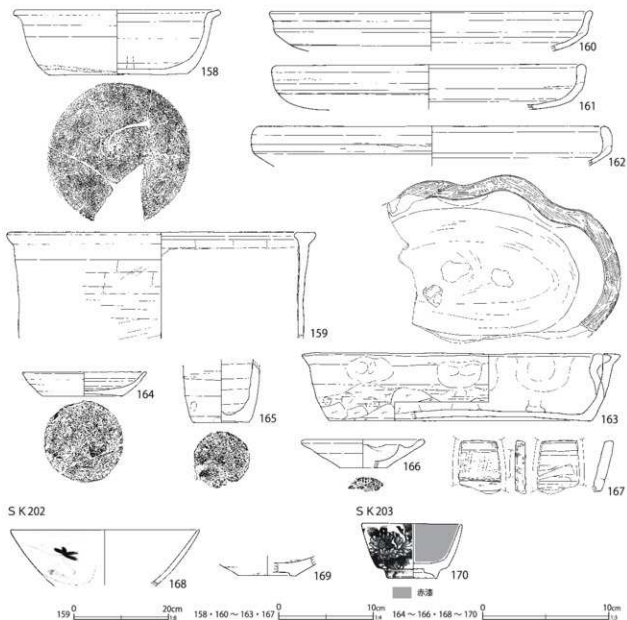
第196图 土坑出土遗物(73)



第197図 土城出土遺物(74)



第198図 土壙出土遺物(75)



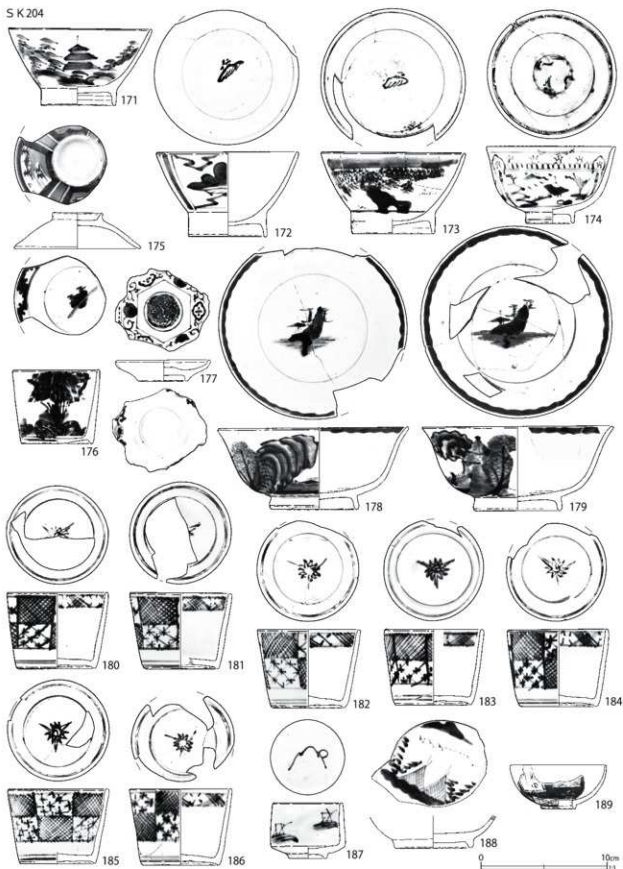
第199図 土壙出土遺物 (76)

陶磁器では被熱したものが多くみられるが、覆土の堆積状況は他の多くの火災処理土壙と異なる。同じように斜め堆積が認められるのは第25号土壙であるが、本跡のほうがより焼土が少ない。第190図1021・1022は瀬戸美濃系磁器である。器面が若干荒れているが、明確な被熱痕は認められない。1023は産地不詳の陶器蓋物で桶のタガを模す。第9号土壙から同一個体（第128図54）が出土している。1031は京都産陶器である。所謂白色土器の涼炉で外面に刻印がある。1033は土器

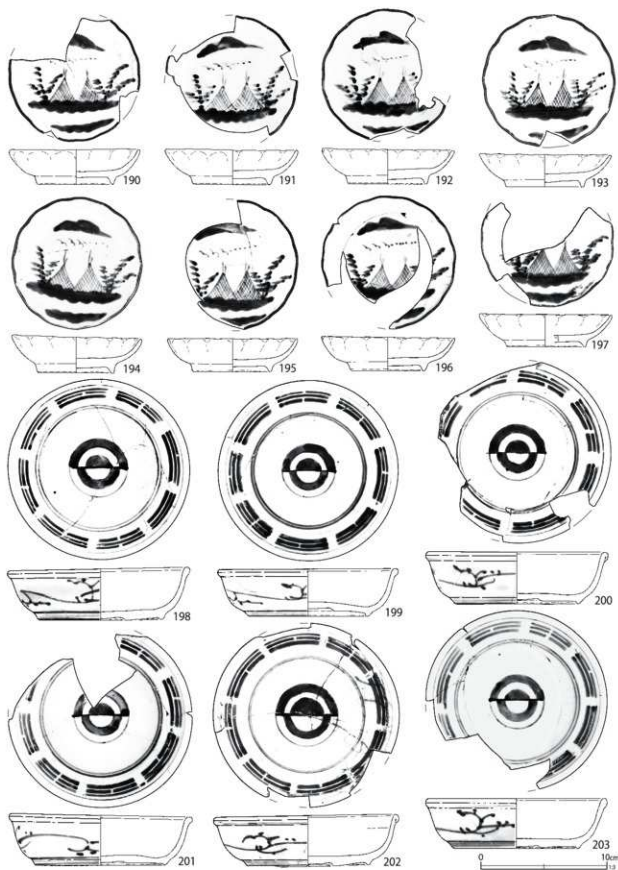
の火鉢類で、胎土は粉質、微細な金雲母を含む。表面には光沢のある塗布物がみられる。同様の遺物は、第166号土壙（第187図964～966）にもみられる。1034は金雲母を多く含む真壁系の焙烙である。内耳上端と口唇部の接点に焼成前の刻みがある。被熱した陶磁器が一定量あるが、やや新しい様相の遺物も含まれる。火災直後に構築されたものか否か、疑問も残る。

第189号土壙は第188号土壙に壊される小形の土壙であるが、両者の覆土は極めて似通ってい

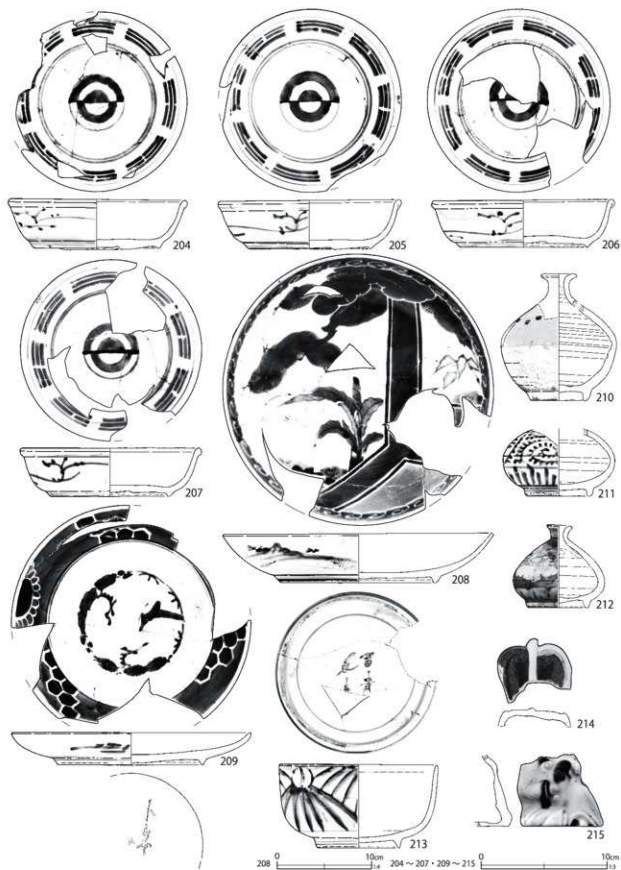
S K 204



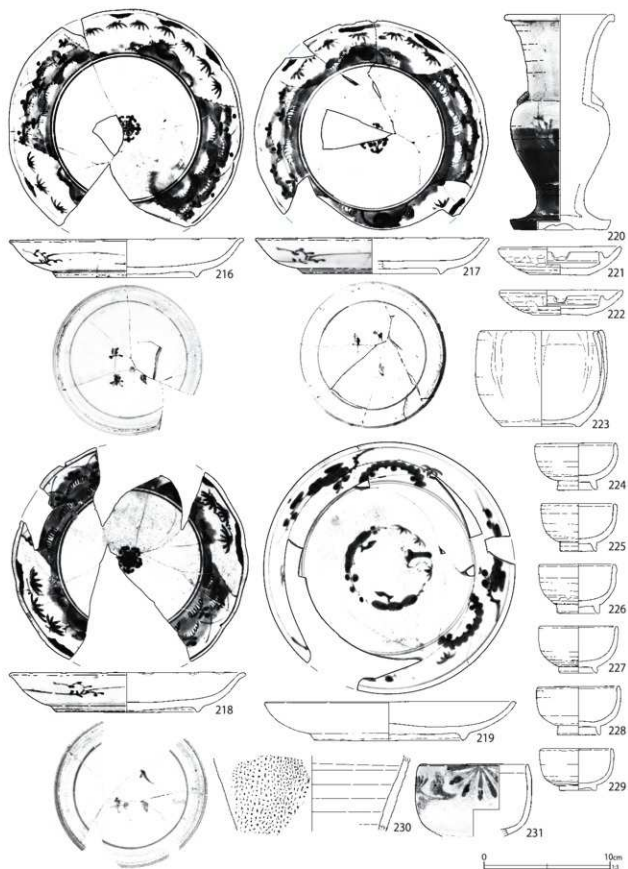
第200图 土坑出土遗物 (77)



第 201 图 土城出土遗物 (78)



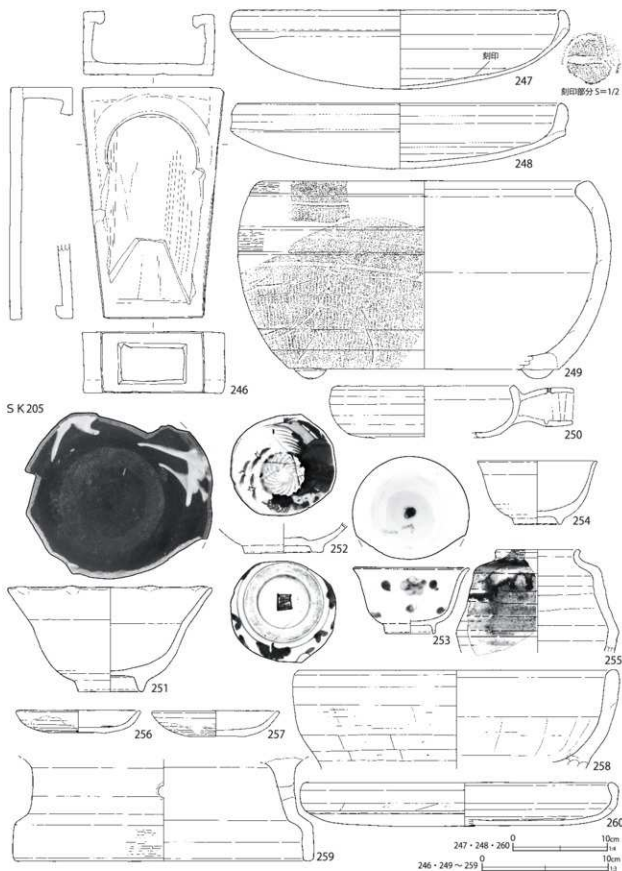
第202图 土壙出土遺物 (79)



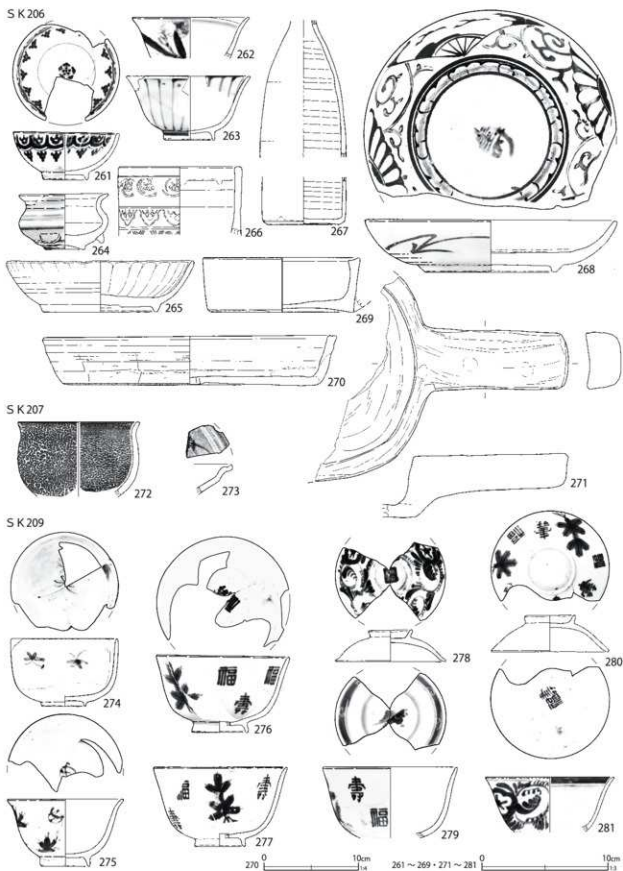
第203图 土城出土遺物(80)



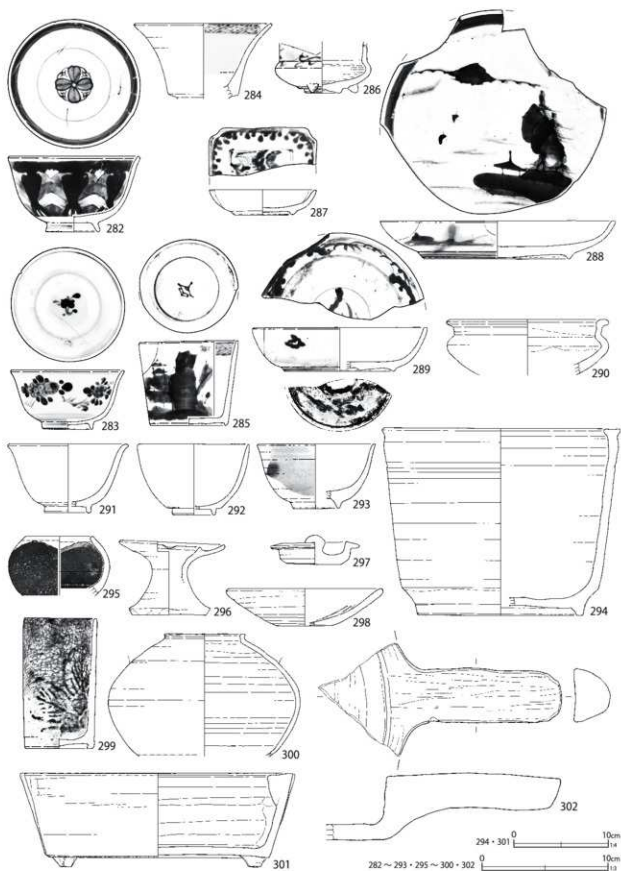
第204図 土壙出土遺物(81)



第 205 図 土城出土遺物 (82)

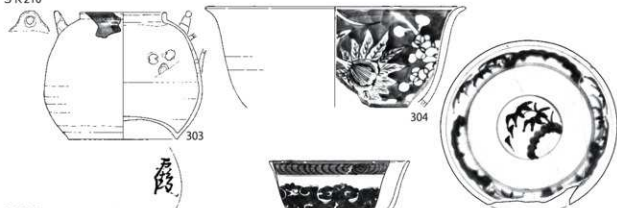


第 206 図 土壙出土遺物 (83)

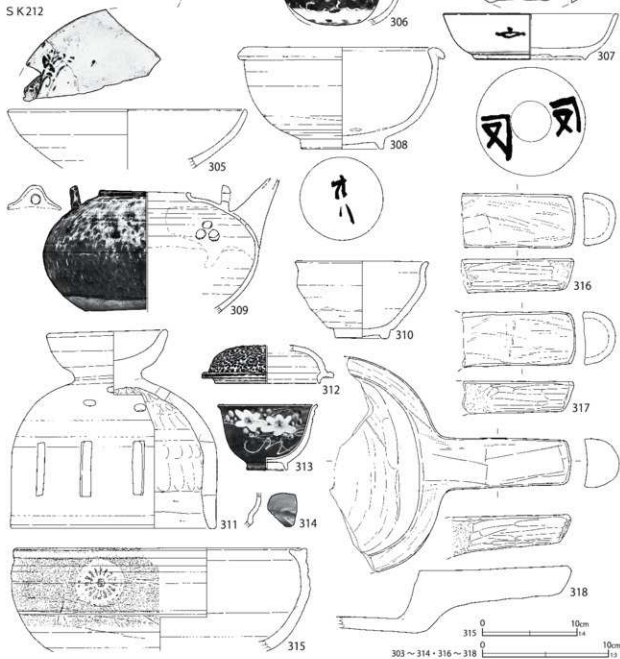


第207図 土城出土遺物 (84)

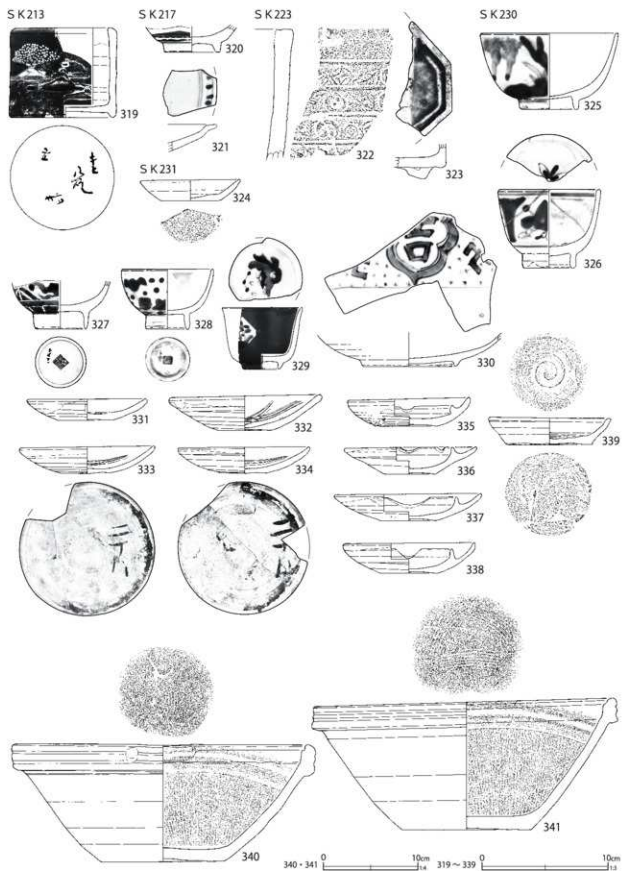
SK210



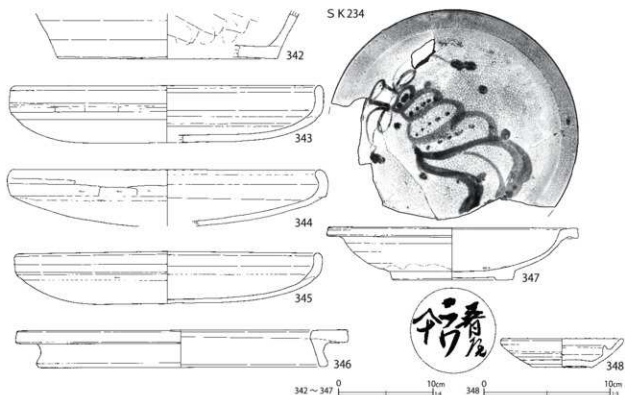
SK212



第208图 土壙出土遺物(85)



第 209 図 土城出土遺物 (86)



第210図 土壌出土遺物 (87)

た。第191図1038～1048は出土した陶磁器であるが、18世紀以前のものが主体である。1042は瀬戸美濃系陶器の祖母懷茶壺で、体部の丸み強い。17世紀前半の所産と思われ、被熱している。

第198号土壌 (第115図)

調査区北部のC6-B3グリッドに所在し、第201号土壌に近接して検出された。本陣敷地内の土壌と考えられる。北側は第4号井戸跡に掘り込まれているが、長軸2.7m以上の楕円形の土壌とみられる。ただし、南側底面が一段深く下っており、炭化木を主体とする土が堆積していた。下部に別の土壌が重複していた可能性もある。

第192図1067～1074は出土した陶磁器の一部である。1070は萩焼碗の底部である。1071は陶器の小形徳利で、第201号土壌から同タイプのものが出土している (第197図124・125) が、肩部の形状が異なり、別個体である。1073は施釉土器灯明皿で江戸在地系、1074は土器甕で在地系と考えられる。このほか、肥前系磁器の焼継痕があ

る八角鉢や瀬戸美濃系磁器の湯呑形碗、真壁産土器甕が出土している。酸化コバルト染付の磁器は出土していない。また、第264図85・86に示した石製品の石筆が出土しているが、重複する第4号井戸跡から混入した可能性もある。遺構の最終埋没は、第4号井戸跡が構築される直前頃で、19世紀第3四半期と考えられる。

本跡からは第225図14や、第226図10～15に示したように、玩具類が多く出土した。14は亀を模したと思われる中空の人形類で、亀乗り童子人形と思われる。微細な雲母を含む橙色の胎土で江戸在地系と考えられる。内面は指頭ナデ痕が粗く残る。外面には透明釉を施し、一部緑釉で彩色する。腹部側面 (脇腹部分) に二重亀甲の「亀」刻印がある。「亀」刻印は、伏見人形の原型師、欽古堂亀祐の手によるものとされる (中野2011) が、本跡出土例は江戸在地系であり、類例が無い。原型の移動があったものか、江戸近郊で型を模したのか、問題を提起している。

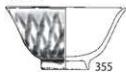
S K 237



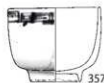
349



S K 242



355



357



361

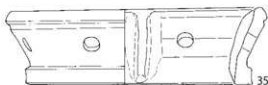


362

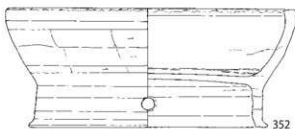
S K 240



350



351



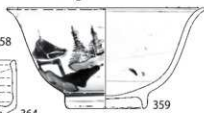
352



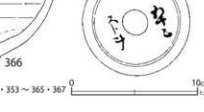
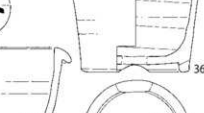
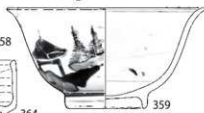
354



353

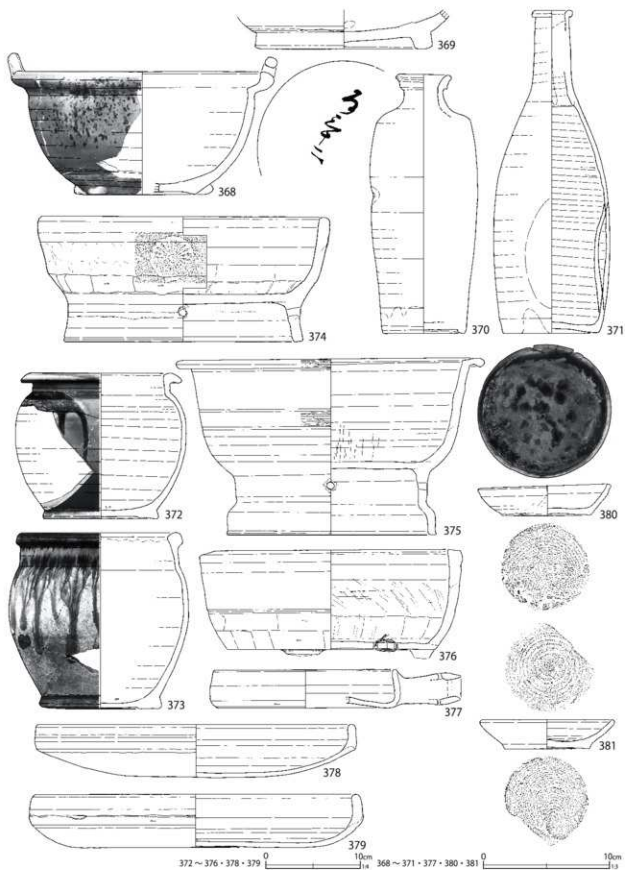


359



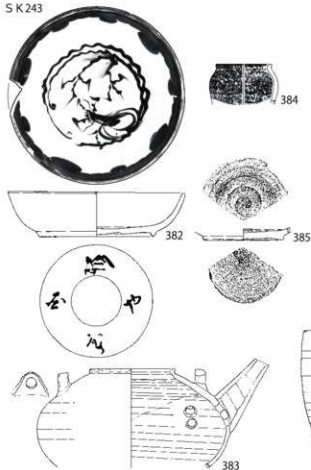
351・352・366 0 10cm 349・350・353~365・367 0 10cm

第 211 図 土城出土遺物 (88)

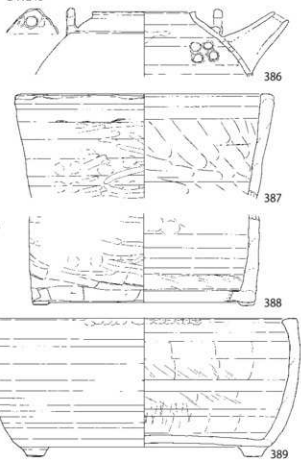


第212図 土壙出土遺物 (89)

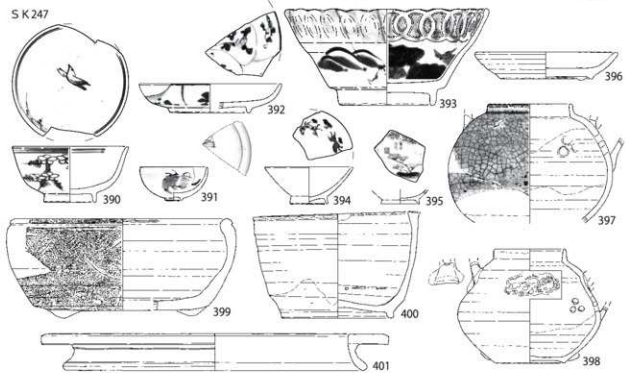
SK243



SK246



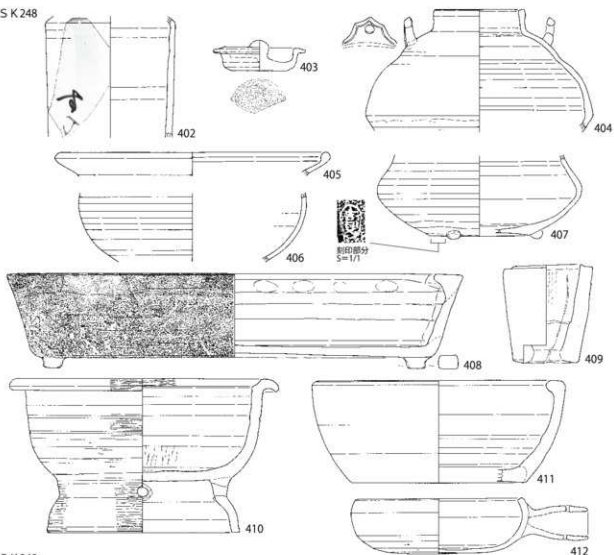
SK247



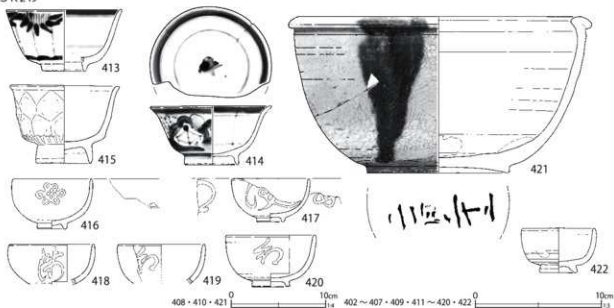
387 ~ 389 · 400 · 401 0 10cm 1:4 382 ~ 386 · 390 ~ 399 0 10cm 1:3

第213図 土城出土遺物(90)

S K248

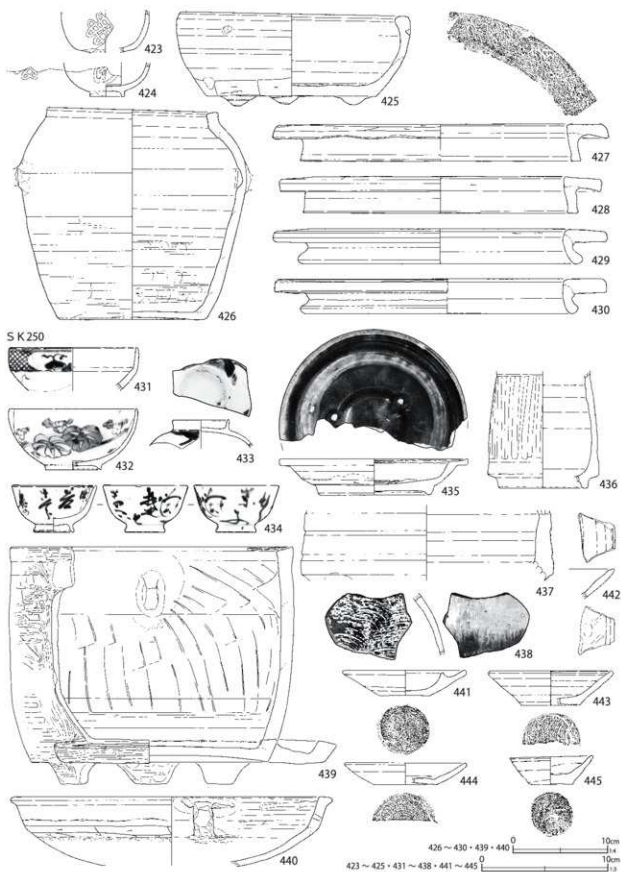


S K249

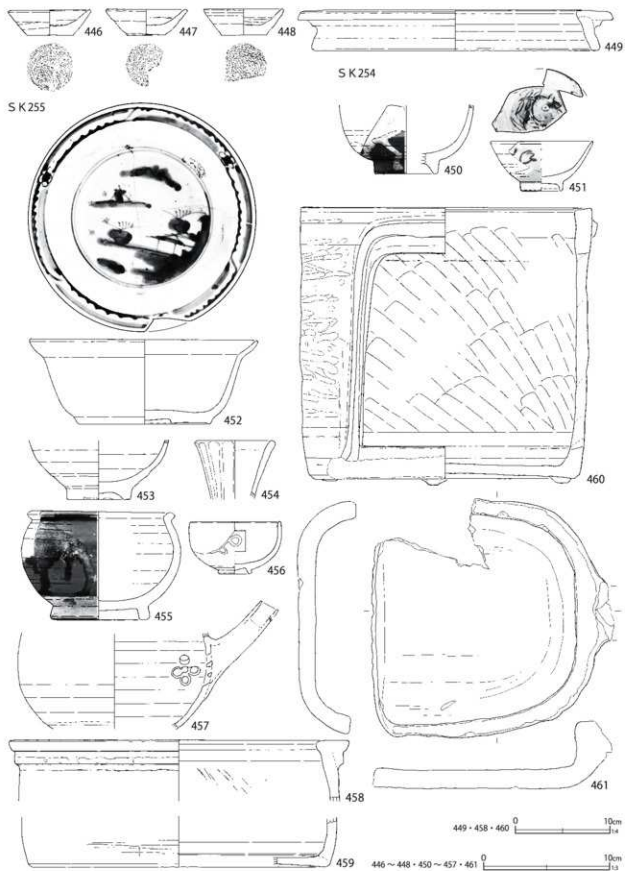


0 10cm 1/4 408・410・421 0 10cm 1/2 402～407・409・411～420・422

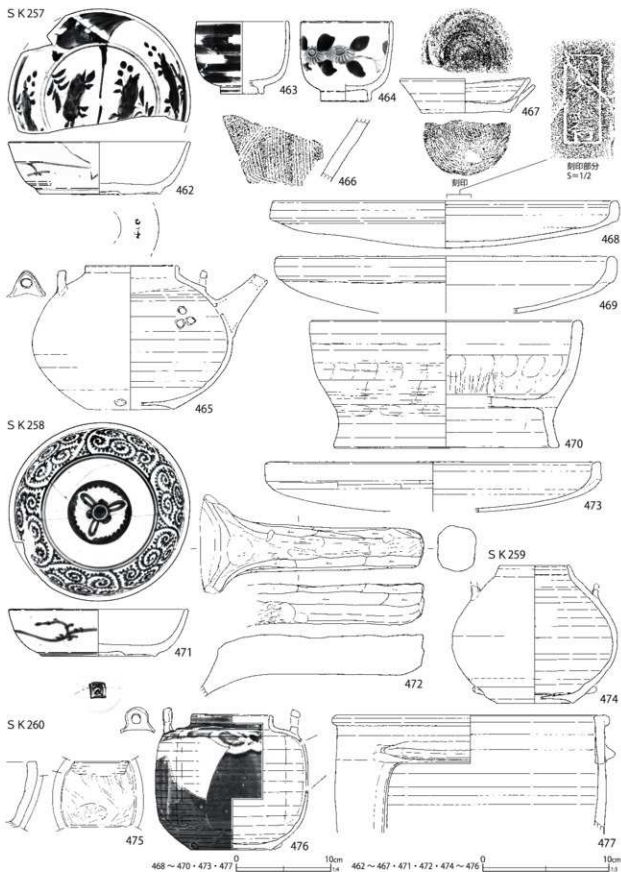
第214図 土壙出土遺物(91)



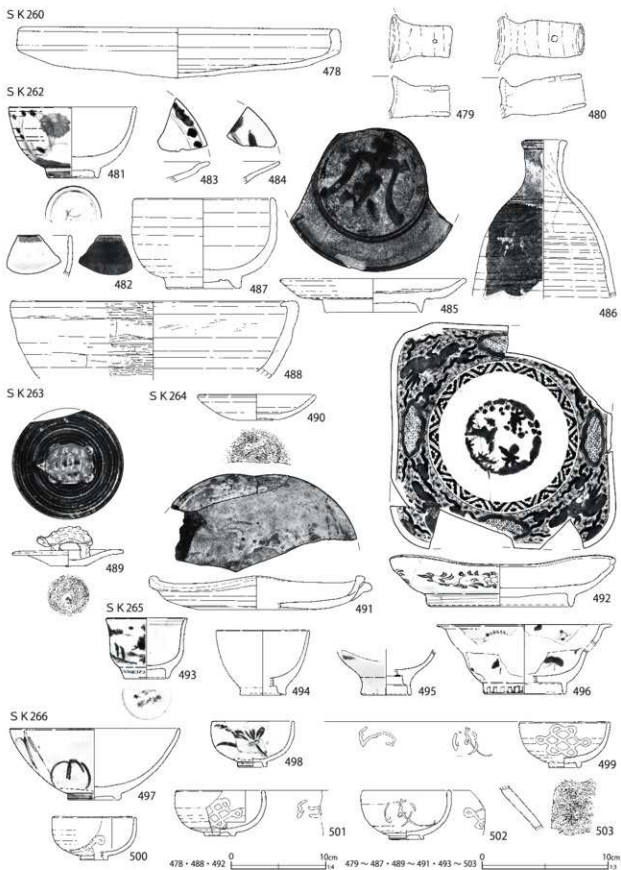
第 215 図 土城出土遺物 (92)



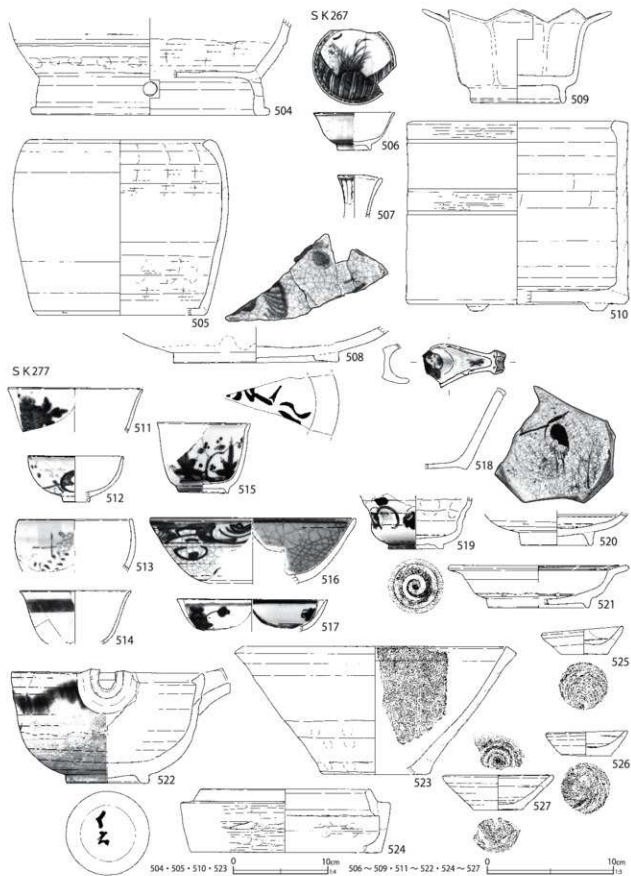
第216図 土壙出土遺物 (93)



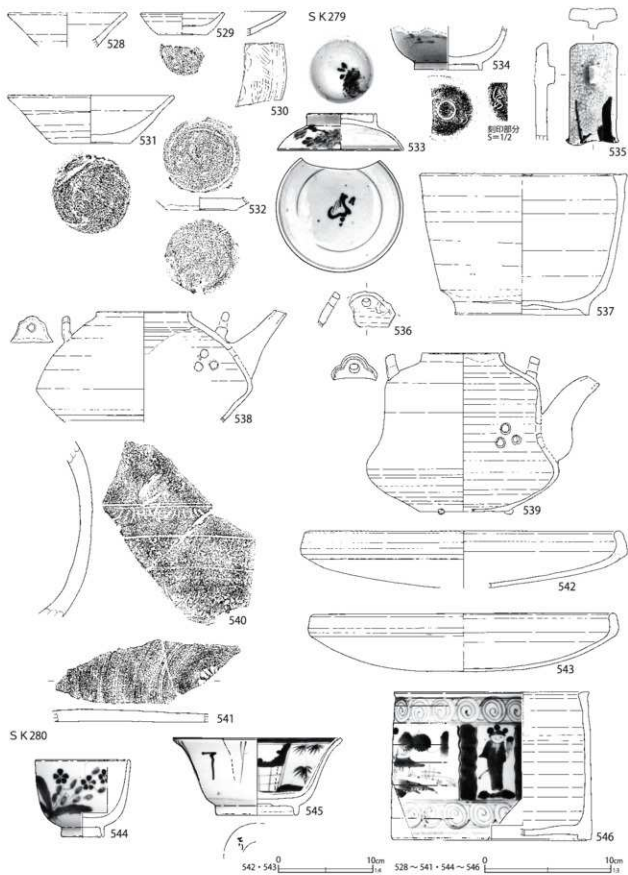
第 217 図 土城出土遺物 (94)



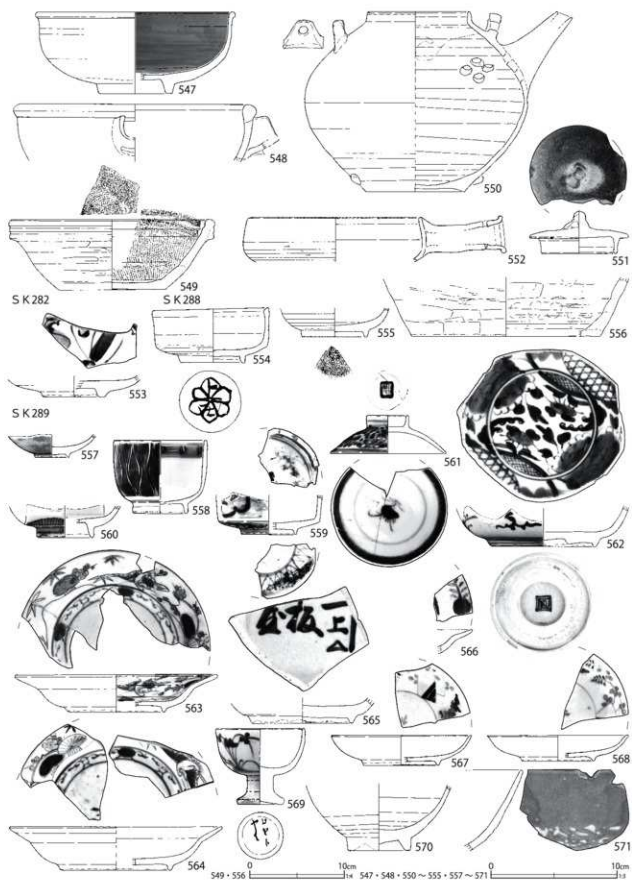
第218図 土壙出土遺物(95)



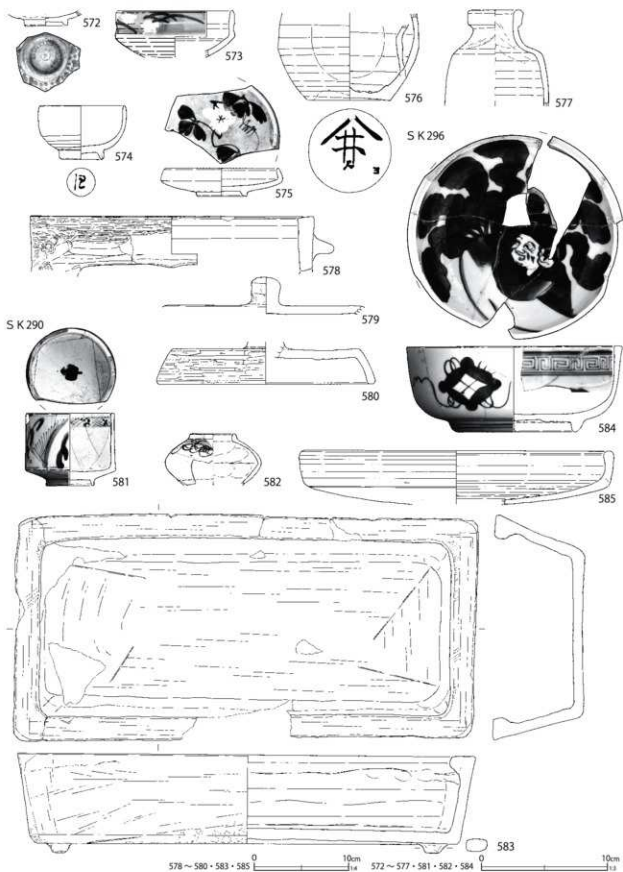
第 219 図 土城出土遺物 (96)



第220図 土壙出土遺物 (97)

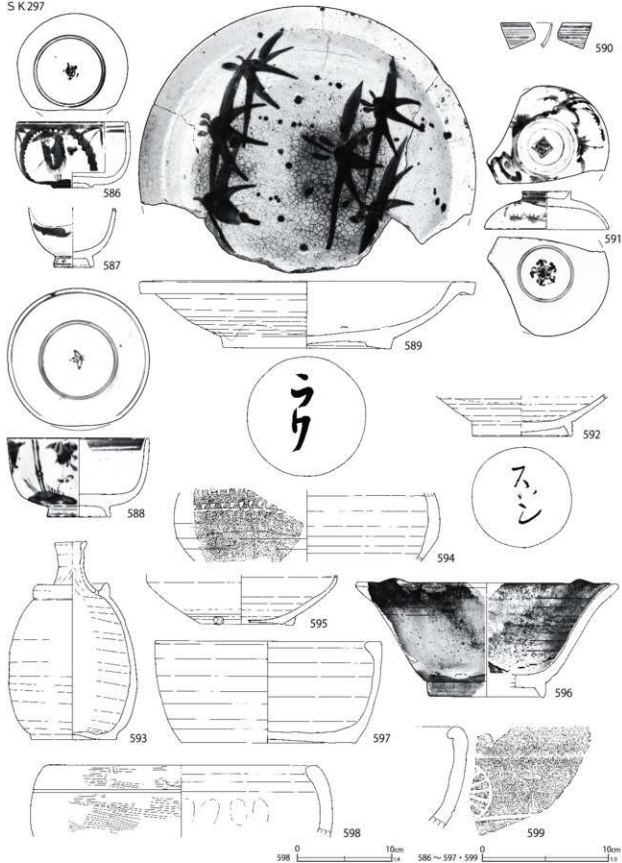


第 221 図 土城出土遺物 (98)



第222図 土壙出土遺物 (99)

SK297



第 223 図 土城出土遺物 (100)

第31表 土壌出土遺物観察表(1) (第124~192図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(11.2)	[4.1]	—	—	15	良好	灰白	SK1	肥前系 施軸・染付	
2	磁器	水筒	—	[3.6]	—	—	—	普通	灰白	SK1	肥前系 外面施軸・染付・色絵	30-11
3	磁器	皿	(22.6)	2.8	(15.0)	—	30	良好	白	SK1	SK27 接合 肥前系 施軸・染付 強く被熱	
4	陶器	皿	(36.2)	7.8	16.2	EIK	45	良好	灰白	SK1	瀬戸美濃系 灰軸 内面目跡4遺存 被熱	
5	陶器	皿	37.0	8.2	16.0	DH	85	良好	灰白	SK1	瀬戸美濃系 灰軸 内面目跡5(4残) 被熱	30-12
6	磁器	播鉢	34.2	13.6	17.1	IK	65	良好	明赤褐	SK1	堺石系 内面窪目 被熱	
7	磁器	碗	(11.3)	6.5	(6.1)	—	40	良好	白	SK2	肥前系 施軸・染付 強く被熱	31-1
8	磁器	碗	(15.2)	6.9	5.5	—	65	良好	白	SK2	肥前系 施軸・染付 強く被熱*	31-4
9	磁器	碗	(8.8)	[4.1]	—	—	20	良好	白	SK2/9	肥前系 施軸・染付 外面色絵 強く被熱	31-5
10	磁器	碗	(9.1)	5.6	(3.4)	—	45	良好	白	SK2/9	肥前系 施軸・色絵 強く被熱	31-2
11	磁器	碗	(8.6)	5.4	3.4	—	25	良好	白	SK9	施軸 肥前系 口跡 外面色絵 強く被熱	31-6
12	磁器	碗	(8.8)	5.4	(3.4)	—	20	良好	白	SK9	肥前系 施軸 外面色絵 強く被熱	31-7
13	磁器	碗	(8.6)	[2.5]	—	—	5	良好	白	SK2	肥前系 口跡 外面色絵 強く被熱	31-3
14	磁器	碗	(7.9)	[2.6]	—	—	25	良好	白	SK9	肥前系 施軸 口跡 外面色絵 被熱	31-3
15	磁器	碗	(8.3)	[3.5]	—	—	5	良好	白	SK9	肥前系 施軸 口跡 外面色絵 被熱	31-3
16	磁器	碗	—	[4.6]	—	—	5	良好	白	SK9	肥前系 施軸 外面色絵 強く被熱	31-3
17	磁器	碗	(8.4)	[4.7]	—	—	25	良好	白	SK2	肥前系 施軸 口跡 外面色絵 被熱	31-3
18	磁器	碗	—	[2.3]	—	—	5	良好	白	SK9	肥前系 施軸 外面色絵 強く被熱	31-3
19	磁器	碗	—	[4.1]	(3.3)	—	25	良好	白	SK9	SK166 接合 肥前系 施軸 外面色絵 被熱	31-8
20	磁器	碗	—	[2.9]	3.5	—	45	良好	白	SK2/9	肥前系 施軸 外面色絵 強く被熱	31-3
21	磁器	碗	—	[3.2]	3.6	—	30	良好	白	SK2	瀬戸美濃系 施軸・染付 強く被熱	31-10
22	磁器	碗	(6.5)	5.3	3.0	—	70	良好	白	SK2	瀬戸美濃系 施軸・染付 焼痕・焼瀝印 被熱せし*	31-9
23	磁器	碗	(6.6)	5.3	(2.9)	—	25	良好	白	SK2	瀬戸美濃系 施軸・染付 外面割裂状 被熱せし*	31-11
24	磁器	猪口	(8.7)	[5.9]	—	—	20	良好	白	SK2/9	肥前系 施軸・染付 強く被熱	33-1
25	磁器	猪口	(8.5)	6.5	(6.1)	—	30	良好	白	SK9	肥前系 施軸・染付 強く被熱	33-1
26	磁器	猪口	(8.5)	6.4	(6.0)	—	25	良好	白	SK2	肥前系 施軸・染付 被熱 同文割体5以上有	33-1
27	磁器	猪口	(8.2)	5.2	(4.0)	—	40	良好	白	SK2/9	肥前系 施軸 (外面青磁軸) 内面染付 強く被熱	31-12
28	磁器	坏	6.0	2.8	2.5	—	10	良好	白	SK2	瀬戸美濃系 施軸 内面上絵付 (青) 被熱せし*	32-1
29	磁器	坏	7.0	3.7	2.5	—	75	良好	白	SK9	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱 銅器着	32-2
30	磁器	坏	(4.0)	[2.8]	—	—	30	良好	白	SK2	肥前系 施軸 口跡 外面色絵 被熱	
31	磁器	皿	(14.8)	(3.5)	(6.4)	—	25	良好	灰白	SK2/9	肥前系 施軸 内面色絵 被熱	33-2
32	磁器	皿	—	[2.8]	(9.3)	—	25	良好	白	SK9	肥前系 施軸 内面染付 強く被熱	
33	磁器	皿	—	[1.8]	(8.6)	—	25	良好	白	SK2	肥前系 施軸 内面染付	
34	磁器	皿	(13.9)	4.7	(8.8)	—	15	良好	白	SK9	SK111 接合 肥前系 施軸 内面染付	
35	磁器	皿	—	[2.4]	(11.8)	—	30	良好	白	SK2	SK188 接合 肥前系 施軸・染付 強く被熱	33-3
36	磁器	皿	(20.0)	2.9	(12.7)	—	25	良好	白	SK2/9	肥前系 施軸・染付 弱く被熱	33-4
37	磁器	皿	(20.6)	3.3	(13.5)	—	40	良好	白	SK2/9	SK7・188 接合 肥前系 施軸・染付 口紅	33-5
38	磁器	皿	—	[2.2]	(18.4)	—	20	良好	白	SK2/9	肥前系 施軸・染付 高台内ハリ支痕 強く被熱 焼痕痕	32-3
39	磁器	皿	(19.2)	2.9	(11.0)	—	50	良好	白	SK2	SK111/166 接合 肥前系 施軸 内面染付 被熱	32-3
40	磁器	鉢	(36.4)	[7.2]	—	—	15	良好	灰白	SK2/9	肥前系 施軸・染付 弱く被熱	32-4
41	磁器	皿	(30.7)	4.4	(17.6)	—	20	良好	白	SK2/9	肥前系 施軸・染付 被熱	33-6
42	磁器	皿	(20.2)	3.3	(13.8)	—	20	良好	白	SK2/9	SK151/166/188 接合 肥前系 施軸 内面染付 強く被熱	32-5
43	磁器	鉢	(15.6)	—	(7.1)	—	30	良好	白	SK2/9	肥前系 瑠璃軸 被熱 遺存高下 [2.9] 上 [3.2]	32-6
44	磁器	德利	1.9	[13.4]	—	—	70	良好	白	SK2	肥前系 外面施軸・染付 被熱	33-7
45	磁器	蓋物	—	[4.6]	—	—	40	良好	白	SK2	肥前系 (平戸系) 施軸 (外面鉄軸) 到真須で彩色) サザエを模す	34-1
46	磁器	瓶類	(4.2)	[3.4]	—	—	5	良好	白	SK9	肥前系 瑠璃軸 外面金彩 被熱 47の口縁	32-8
47	磁器	瓶類	—	—	(9.4)	—	15	良好	白	SK2/9	SK166 接合 肥前系 施軸 外面全面瑠璃軸・金彩 被熱 遺存高下 [7.8] 上 [12.4]	32-8

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
48	陶器	鉢か	—	[5.5]	—	I	10	良好	褐灰	SK2	萩焼 裏灰輪 49と同一個体か	33-8
49	陶器	鉢か	—	[1.6]	—	I	—	良好	褐灰	SK9	萩焼 裏灰輪	33-8
50	陶器	灯明皿	7.0	1.9	3.4	I	95	良好	灰白	SK2	瀬戸美濃系 柿輪 内面重焼痕	
51	陶器	皿	—	[3.3]	—	IK	50	良好	灰白	SK2	SD3 接合 型成形 施輪(黄色) 布圧痕	34-2
52	陶器	鉢	(17.8)	[7.7]	—	HIK	50	良好	灰白	SK2	瀬戸美濃系 灰輪・緑輪・瑠璃輪・白色輪 流掛 弱く被熱	33-9
53	陶器	片口鉢	(8.4)	5.0	4.0	K	55	良好	灰白	SK2	瀬戸美濃系 鉄輪	34-3
54	陶器	蓋物	(15.8)	[2.6]	—	IK	20	良好	灰	SK9	産地不詳 内面施輪 外面施文 被熱	32-7
55	陶器	蓋物	(8.4)	7.1	(5.0)	HIK	30	良好	灰黄	SK2	京都信楽系 内面施輪 外面緑輪 被熱	34-4
56	陶器	蓋	—	[1.5]	(5.4)	K	25	良好	灰白	SK2	上面隠短状施文・灰輪	34-5
57	陶器	鍋	(8.6)	[4.2]	—	K	25	良好	にぶい橙	SK2	施輪 ミニチュアの可能性あり	
58	陶器	カンテラ	(4.8)	4.0	(3.6)	K	40	良好	灰白	SK2	京都信楽系 施輪	34-6
59	陶器	土瓶	(6.6)	[4.9]	—	I	20	良好	灰オリーブ	SK2	外面施輪 強く被熱	
60	陶器	土瓶	—	[4.9]	—	IK	5	良好	灰	SK9	外面施輪 被熱	34-7
61	陶器	土瓶	(10.0)	(9.4)	(5.8)	H	10	良好	灰白	SK2/9	京都信楽系 外面施輪 底部刻印「火割請合」 被熱 上下接点ない破片から図上復元	35-1
62	陶器	壺	(32.4)	[11.2]	—	HIK	10	良好	灰白	SK2	瀬戸美濃系 柿輪 被熱	
63	陶器	植木鉢	(22.0)	[7.5]	—	IK	20	良好	灰白	SK2	瀬戸美濃系 外面緑輪・ヘラ描文 被熱	
64	陶器	植木鉢	(29.4)	—	(20.4)	K	25	良好	灰白	SK2	瀬戸美濃系 外面緑輪・ヘラ描文 強く被熱 遺存高下 [17.7] 上 [5.5]	
65	陶器	水甕	(34.0)	—	(27.0)	EK	10	良好	灰黄	SK2	瀬戸美濃系 灰輪 外面緑輪流掛 被熱 遺存 高下 [7.0] 上 [11.1]	34-8
66	陶器	鉢	(32.6)	21.8	(18.4)	DI	45	良好	灰白	SK2	瀬戸美濃系 灰輪 外面鉄輪流掛 弱く被熱	34-9
67	瓦質土器	火鉢	(28.8)	[8.9]	—	BCHK	15	普通	にぶい橙	SK9	外面彫文状 顔化変成さみ	
68	土師質土器	器台	(16.8)	[4.9]	(11.5)	S	20	普通	橙	SK2	砂目底	35-3
69	瓦質土器	蓋	—	[2.3]	—	CFIK	45	普通	灰白	SK2	上面シワ状痕 悪化	
70	瓦質土器	塔埴	—	5.0	—	DCEHK	5	普通	にぶい黄橙	SK9	砂目底	
71	かわらけ	小皿	(10.0)	2.2	(5.4)	AIK	20	普通	にぶい橙	SK9	底部ナデ 体部外面回転ヘラナデ	35-2
72	かわらけ	小皿	(10.0)	[1.8]	—	AHK	40	良好	にぶい橙	SK2/9	体部外面回転ヘラナデ	35-2
73	かわらけ	小皿	12.0	2.5	6.6	AHK	70	良好	にぶい橙	SK2	底部離糸切痕 胎土粉質	35-4
74	かわらけ	小皿	(8.4)	1.5	(4.8)	AK	55	良好	にぶい橙	SK2	底部糸切痕(左) 胎土粉質	35-2
75	磁器	碗	9.2	5.3	3.8	—	95	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 施輪・染付	35-5
76	磁器	碗	(7.2)	6.1	3.6	—	60	良好	灰白	SK3	肥前系 施輪 外面染付	
77	磁器	碗	7.2	6.5	3.6	—	80	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 施輪 外面染付	
78	磁器	碗	11.6	7.1	5.5	—	80	良好	白	SK3	瀬戸美濃系 施輪・染付 同文別個体1有	
79	磁器	鉢	12.0	5.3	5.0	—	75	良好	灰白	SK3	肥前系 施輪・染付 高台内露胎	
80	磁器	皿	34.8	7.4	15.8	—	80	良好	白	SK3	肥前系 施輪・染付 焼痕痕	35-6
81	磁器	植木鉢	(7.3)	[4.7]	—	—	5	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 瑠璃輪	
82	磁器	蓋物	(6.0)	[3.7]	—	—	15	良好	白	SK3	肥前系 施輪 外面染付 被熱	
83	陶器	坏	6.6	3.3	2.6	K	95	良好	灰白	SK3	肥前系 施輪 外面染付	
84	陶器	坏	5.7	4.0	3.0	K	95	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 灰輪	
85	陶器	坏	5.5	3.2	2.8	K	100	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 灰輪 内面漆膜状付着物	35-8
86	陶器	坏	6.0	3.5	2.9	K	100	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 灰輪 内面赤色物質付着	35-9
87	磁器	坏	6.6	3.2	2.5	—	95	良好	白	SK3	肥前系 施輪 外面染付 内面赤色物質付着	35-10
88	陶器	碗	(7.6)	5.4	3.0	I	20	良好	灰白	SK3	萩焼 外面ビラ掛け施輪 高台内溝巻状	35-7
89	陶器	灯明皿	9.9	2.2	4.3	K	90	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 柿輪 外面重焼痕	36-1
90	陶器	灯明皿	9.6	2.1	4.3	—	100	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 柿輪 外面重焼痕 底砂状付着物	36-1
91	陶器	灯明皿	9.6	1.7	3.8	IK	95	良好	褐灰	SK3	瀬戸美濃系 柿輪 外面重焼痕	36-1
92	陶器	灯明皿	9.3	1.9	3.9	IK	90	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 柿輪 外面重焼痕	36-1
93	陶器	灯明皿	9.3	2.1	4.2	IK	80	良好	褐灰	SK3	瀬戸美濃系 柿輪・重焼痕	36-1
94	陶器	灯明皿	7.0	1.6	3.8	IK	75	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 柿輪 底外面重焼痕	36-2
95	陶器	灯明皿	9.4	1.8	4.6	IK	45	良好	褐灰	SK3	瀬戸美濃系 柿輪・重焼痕	36-1
96	陶器	灯火具	(8.4)	5.1	5.5	K	85	良好	灰白	SK3	京都信楽系 施輪	36-1
97	陶器	灯火具	(8.8)	6.2	5.8	IK	70	良好	灰白	SK3	京都信楽系 施輪	36-1

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
98	陶器	鉢	(19.2)	(9.5)	(7.2)	DIK	15	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 灰軸 口縁部うのふ輪 内面緑釉・白色釉流弊 下地鉄化斑	
99	陶器	德利	2.6	20.6	8.2	IK	100	良好	にぶい黄橙	SK3	瀬戸美濃系 外面柿輪 体部窪み2	36-3
100	陶器	水注	(8.4)	11.4	5.5	I	40	良好	灰白	SK3	京都信楽系 外面施軸・鉄絵 墨書	
101	陶器	德利	—	(12.3)	7.6	DK	70	良好	灰白	SK3	外面施軸・鉄絵 接点無い2片から図上復原	
102	陶器	甕	21.2	18.7	13.2	DK	95	良好	灰白	SK3	瀬戸美濃系 柿輪 鉄軸流弊 内面日跡4	
103	陶器	甕	(68.4)	(40.3)	—	AEIK	20	良好	赤	SK3	常滑 外面鉄肌	
104	陶器	土瓶	7.1	15.8	7.6	IK	90	良好	灰白	SK3	京都信楽系 外面施軸 内面煤付着	
105	陶器	蓋	—	[1.8]	5.6	D	95	良好	灰白	SK3	外面トビガンナ状文・白色釉流弊 穿孔1	36-4
106	陶器	土瓶	8.1	10.3	7.5	I	90	良好	灰白	SK3	外面トビガンナ状文・白色釉流弊・押印文	36-4
107	陶器	土瓶	6.5	9.7	6.6	K	90	良好	灰白	SK3	外面青緑釉	
108	陶器	蓋	—	[2.2]	5.8	D	95	良好	灰	SK3	外面海鼠軸	36-5
109	陶器	灯火具	7.0	7.1	7.3	EIK	100	普通	橙	SK3	透明軸	36-6
110	瓦質土器	火鉢	(18.8)	8.5	(12.4)	CHI	35	普通	黄灰	SK3	底部ヘラナゲ 内面割離激しい 角閃石多量	
111	瓦質土器	火鉢	—	[8.4]	—	DEFH	5	普通	にぶい橙	SK3	口縁外面塗布物(銀色) やや酸化実地成	
112	土師質土器	火鉢	(15.6)	7.9	(12.5)	CHK	40	普通	灰黄	SK3	底部ヘラナゲ	
113	土師質土器	焙烙	(34.8)	5.6	(33.6)	CI	55	普通	浅黄橙	SK3	砂目底 煤付着	
114	土師質土器	焙烙	(33.7)	5.6	(35.0)	DEH	30	普通	灰白	SK3	砂目底 煤付着	
115	土師質土器	焙烙	(33.5)	[5.6]	(33.0)	CIK	15	普通	にぶい黄橙	SK3	砂目底 煤付着	
116	土師質土器	焼飯甑	—	[3.1]	(5.2)	AHK	20	普通	にぶい橙	SK3	板作成形 胎土砂質	
117	土師質土器	茶碗	2.4	1.9	2.0	AK	100	普通	にぶい橙	SK3	底部系切痕(左)・板状圧痕 胎土粉質	
118	磁器	皿	—	[1.4]	(6.0)	—	5	良好	灰白	SK4	肥前系 施軸 内面色絵(赤)	
119	陶器	香炉	—	[1.9]	3.6	DE	40	良好	灰白	SK4	瀬戸美濃系 外面灰軸 内面墨書「一」	
120	磁器	皿	—	[2.0]	4.8	—	80	良好	白	SK4	肥前系 施軸 外面染付(初期伊万里)	36-7
121	陶器	蓋	—	1.6	6.3	EK	100	良好	灰白	SK4	外面灰軸・一部ウノフ状 つまみ菊花状	36-8
122	陶器	水注	6.5	9.8	6.8	EK	90	良好	灰白	SK4	灰軸・一部ウノフ状 底部強道具痕	36-8
123	かわらけ	小皿	(5.2)	1.0	3.4	AHI	70	良好	灰白	SK4	底部系切痕(左) 胎土粉質	
124	磁器	皿	—	[2.4]	(6.0)	—	5	良好	白	SK5	肥前系 施軸 内面染付・色絵(赤)	
125	陶器	蓋	—	[2.6]	—	D	75	良好	灰白	SK5	松岡系 海鼠軸 つまみ菊花状 最大径8.3	36-9
126	土師質土器	焼飯甑	—	[3.5]	(4.9)	ACH	5	普通	にぶい橙	SK5	底部系切痕 胎土粉質	
127	土師質土器	焙烙	32.2	5.0	32.7	CD	55	普通	灰白	SK5	砂目底 外面煤付着	
128	磁器	碗	6.8	[4.7]	—	—	90	良好	白	SK6	瀬戸美濃系 施軸 外面染付	
129	磁器	水漬	—	2.5	—	—	50	良好	白	SK6	瀬戸美濃系 外面扇刺状文・施軸・染付	
130	瓦質土器	十徳	—	縦[16.4] 高5.4	—	CDEI	40	普通	灰白	SK6	底部シワ状痕 燻す	
131	磁器	蓋	(10.2)	[1.7]	—	—	35	良好	白	SK7	碗の内面に被熱して付着	37-1
		碗	(11.1)	[4.9]	—	—	20	良好	白	SK7	肥前系 施軸・染付 強く被熱	
132	磁器	碗・蓋	(11.0)	[3.8]	—	—	25	良好	白	SK7	肥前系 施軸・染付 強く被熱 蓋と身溶着	37-1
133	磁器	碗・蓋	—	[3.9]	—	—	10	良好	白	SK7	肥前系 施軸・染付 強く被熱 蓋と身溶着	37-1
134	磁器	碗	(8.0)	5.6	(3.1)	—	55	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付・色絵(金) 強く被熱 内面に別の碗付着	37-2
135	磁器	碗	(9.9)	[3.5]	—	—	40	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付 被熱	
136	磁器	碗	(11.5)	[4.5]	—	—	25	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付 被熱	
137	磁器	碗	7.7	6.3	3.6	—	60	良好	白	SK7	肥前系 施軸・染付	
138	磁器	坏	(7.2)	[1.7]	—	—	10	良好	白	SK7	瀬戸美濃系 施軸・染付	37-3
139	磁器	碗	(9.2)	4.9	(3.7)	—	45	良好	白	SK7	瀬戸美濃系 施軸 外面染付 焼離痕 被熱	
140	磁器	碗	(15.1)	(7.7)	(6.0)	—	25	良好	白	SK7	肥前系 施軸・染付 被熱 接点ない上下破片から図上復元	
141	磁器	坏	(7.2)	(4.0)	2.5	—	35	良好	白	SK2/7	SK2の同一個体とともに図示 瀬戸美濃系 外面鉄輪 高台内染付 被熱	37-4
142	磁器	坏	(6.2)	3.9	2.4	—	40	良好	灰白	SK7	肥前系 施軸・染付 強く被熱	37-5
143	磁器	坏	(8.0)	[3.0]	—	—	15	良好	白	SK7	瀬戸美濃系 施軸 内面染付(青)	
144	磁器	坏	(5.0)	[2.1]	—	—	25	良好	白	SK7	瀬戸美濃系 施軸 内面染付	
145	磁器	坏	6.8	6.3	3.4	—	100	良好	白	SK7	肥前系 施軸 被熱 同形別個体1有	37-6
146	磁器	猪口	(7.3)	[4.6]	—	—	35	良好	白	SK7	肥前系 施軸・染付 強く被熱	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
147	磁器	猪口	—	[4.5]	(5.4)	—	25	良好	灰白	SK7	肥前系 施軸・染付 被熱 同文別個体1以上	
148	磁器	皿	10.6	3.0	5.8	—	45	良好	白	SK7	肥前系 施軸 内面染付 被熱	37-7
149	磁器	皿	(10.6)	2.8	6.1	—	60	良好	白	SK7	肥前系 施軸 内面染付 弱く被熱	
150	磁器	皿	(10.6)	2.9	(5.8)	—	25	良好	白	SK7	肥前系 施軸 内面染付 同文別個体2以上	
151	磁器	皿	(10.6)	2.4	6.4	—	55	良好	白	SK7	肥前系 施軸・染付 強く被熱	
152	磁器	皿	(10.8)	2.3	6.4	—	60	良好	白	SK7	肥前系 施軸・染付 強く被熱見込に別の皿の痕跡残る 同文別個体1以上有	37-8
153	磁器	皿	10.8	2.5	6.2	—	40	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	37-9
154	磁器	皿	(14.0)	3.6	8.8	—	40	良好	白	SK7	肥前系 施軸・染付 墨書 被熱	76-2
155	磁器	皿	(10.9)	2.4	(6.6)	—	30	良好	白	SK7	肥前系 施軸 口紅 内面陰刻・染付 強く被熱	
156	磁器	皿	(11.0)	2.4	(6.6)	—	15	良好	白	SK7	肥前系 施軸 口紅 内面陰刻・染付 強く被熱	37-10
157	磁器	皿	(19.4)	2.6	(12.8)	—	30	良好	灰白	SK7	肥前系 施軸・染付 強く被熱	38-1
158	磁器	皿	(31.8)	4.6	(19.8)	—	25	良好	白	SK7	肥前系 施軸 内面染付 焼跡印(白)被熱	38-2
159	磁器	鉢	(11.7)	[6.5]	—	—	40	良好	白	SK7	肥前系 施軸 内面染付 被熱	
160	磁器	香炉	—	[6.5]	(4.4)	—	25	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付・色絵 強く被熱	37-12
161	磁器	皿	(25.8)	3.4	(14.2)	—	20	良好	灰白	SK7	肥前系 施軸 内面染付 焼跡・焼印(赤)	
162	磁器	皿	(31.6)	4.1	(22.0)	—	20	良好	白	SK7	肥前系 施軸 内面染付 被熱	38-3
163	磁器	香炉	(11.8)	[6.3]	—	—	40	良好	灰白	SK7	肥前系 青磁軸 強く被熱	
164	磁器	磁器	(9.3)	—	(7.2)	—	25	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面珪瑯釉(単色)被熱 遺存高さ[2.8]下[2.0]	37-11
165	磁器	香炉	(9.2)	[6.3]	—	—	25	良好	白	SK7	SK289 接合 肥前系 施軸・染付 被熱	38-4
166	磁器	蓋	—	[1.5]	—	—	25	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付 被熱 167の蓋か	
167	磁器	蓋物	(5.6)	4.3	3.5	—	35	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付 被熱	38-5
168	磁器	水注	(6.4)	—	(5.8)	—	10	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付 被熱 遺存高さ[4.9]上[2.8]	38-6
169	磁器	蓋	—	[2.3]	(9.2)	—	30	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付 被熱 最大径(10.8)	
170	磁器	蓋物	(11.0)	(8.9)	(6.4)	—	40	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱 上下接点無い破片から図上復元	
171	磁器	蓋	—	[1.8]	(5.6)	—	30	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付 最大径(7.0)	
172	磁器	蓋物	(6.4)	3.7	(3.1)	—	40	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面染付 被熱	
173	磁器	合子	(4.2)	1.7	(4.2)	—	30	良好	白	SK7	肥前系 施軸 被熱	
174	磁器	蓋	—	(3.2)	(13.7)	—	25	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面色絵(赤・青・緑他) 強く被熱 最大径(16.0) 上下接点無し	39-1
175	磁器	蓋物	(14.4)	(5.0)	—	—	15	良好	白	SK7	肥前系 施軸 外面色絵(赤・黄・緑他) 強く被熱 上下接点無い破片から図上復元	39-2
176	磁器	根付	幅3.3 器高4.4	—	—	—	100	良好	白	SK7	肥前系 型合形成 施軸・染付 外面型押で跡を表現 強く被熱 穿孔2 煤付着	38-7
177	磁器	根付	幅3.1 器高[3.7]	—	—	—	60	良好	白	SK7	肥前系 型合形成 外面施軸 穿孔3	38-8
178	陶器	碗	—	[3.0]	(2.6)	IK	20	良好	にぶい橙	SK7	京都信楽系 施軸 外面鉄絵 強く被熱	
179	陶器	碗	(6.4)	3.8	1.8	—	50	良好	灰白	SK7	京都信楽系 施軸 外面鉄絵 弱く被熱	
180	陶器	蓋	(2.8)	3.2	(9.6)	IK	35	良好	灰	SK7	瀬戸美濃系か 施軸 外面鉄絵 強く被熱	39-3
181	陶器	灯明皿	(7.4)	1.4	(4.1)	K	20	良好	赤灰	SK7	瀬戸美濃系 鉄軸 被熱 黒化	
182	陶器	灯明皿	(10.1)	2.3	4.2	IK	60	良好	灰白	SK7	瀬戸美濃系 鉄軸 内面重焼痕 被熱・黒化	
183	陶器	灯明皿	(10.2)	2.1	(4.2)	K	45	良好	明焼灰	SK7	瀬戸美濃系 鉄軸・重焼痕 被熱・黒化	
184	陶器	鉢小	—	2.6	—	IK	5	普通	にぶい赤褐	SK7	角鉢形 板付成形 施軸 強く被熱 軟質施軸か	39-4
185	陶器	鉢	(11.2)	6.6	(6.2)	E	25	良好	にぶい橙	SK7	備前系 被熱	39-5
186	陶器	香炉	(10.0)	(8.2)	(10.5)	EI	20	良好	灰	SK7	京都信楽系 施軸・貫入有 強く被熱	
187	陶器	香炉小	(10.8)	5.5	—	K	20	良好	灰	SK7	京都信楽系 施軸・貫入有 体部多角形状	39-6
188	陶器	花生小	(10.4)	[4.5]	—	K	15	良好	黒褐	SK7	備前系 被熱・断面黒化	39-7
189	陶器	有耳壺	(10.6)	[10.7]	—	EIK	20	良好	灰白	SK7	瀬戸美濃系 外面鉄軸	
190	陶器	合子	(6.2)	2.5	(6.6)	IK	25	良好	灰白	SK7	京都信楽系 施軸 被熱	
191	陶器	土瓶	—	[2.8]	—	K	10	良好	灰白	SK7	京都信楽系 施軸 外面鉄絵 強く被熱	
192	陶器	土瓶	—	[2.2]	(7.0)	K	—	良好	灰白	SK7	京都信楽系 施軸 強く被熱 191と同一個体	
193	施軸土器	灯火具	(7.4)	[2.3]	—	EIK	45	普通	にぶい黄橙	SK7	透明軸 胎土粉質 被熱・変色	39-8
194	施軸土器	灯明皿	—	[1.6]	3.7	AH	55	普通	にぶい赤褐	SK7	底部糸切痕 透明軸 被熱・変色	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
195	麻軸土器	灯明皿	7.2	1.6	3.3	IK	85	普通	にぶい黄橙	SK7	底部糸切痕 透明軸 胎土粉質 被熱・変色	
196	陶器	播鉢	—	[7.8]	—	DE	5	普通	にぶい黄橙	SK8	丹波系 内面窪目	
197	陶器	甕	(70.0)	[13.0]	—	DEGIK	10	良好	にぶい橙	SK8	常滑 内面上位煤付着	
198	磁器	蓋	—	[1.0]	(9.6)	—	10	良好	白	SK10	肥前系 麻軸 外面染付 強く被熱 199の蓋	
199	磁器	蓋物	(10.0)	[2.5]	—	—	5	良好	白	SK10	肥前系 麻軸 外面染付 被熱 198の身	
200	磁器	蓮華	—	[2.1]	—	—	20	良好	白	SK10	景徳鎮赤系 麻軸 内面染付・扁岡状文 被熱	39-9
201	磁器	碗	—	[3.0]	3.6	—	55	良好	白	SK11	肥前系 麻軸・染付 幾羅紋・幾羅印(白)	
202	陶器	灯火具	8.8	4.8	5.5	—	100	良好	白	SK11	京都信楽系 麻軸	
203	磁器	皿	22.9	3.4	13.0	—	95	良好	白	SK11	肥前系 麻軸 内面染付 高台内ハリ支痕4	39-11
204	陶器	蓋	—	3.2	7.2	D	55	良好	灰白	SK11	外面青緑軸 つまみ菊花状 最大径(9.6)	
205	陶器	土瓶	8.5	12.9	9.4	EK	95	良好	灰白	SK11	外面青緑軸	
206	瓦質土器	火鉢	(28.0)	13.2	20.0	CPHIK	70	普通	にぶい橙	SK11	砂目底 やや酸化変焼成	39-10
207	瓦質土器	燈火	(31.0)	[15.2]	—	CEIK	15	普通	灰白	SK11	窓部煤付着	
208	土師質土器	焙烙	(34.4)	[5.5]	(33.2)	CHIK	50	普通	にぶい黄橙	SK11	砂目底 内面煤付着 二次穿孔2 遺存	
209	土師質土器	小壺か	(5.0)	[1.8]	—	AK	15	不良	にぶい橙	SK11	胎土粉質 玩具の可能性あり	
210	陶器	蓋	—	3.1	4.9	EK	95	良好	にぶい黄橙	SK12	外面麻軸・三彩絵付 内面刻印「寶山」	
211	磁器	根付	縦5.5 幅3.7			—	60	良好	白	SK12	肥前系 合型成形 藍文	40-1
212	麻軸土器	灯明皿	7.2	1.6	3.6	IK	75	普通	橙	SK12	透明軸 口縁部一部煤付着	40-2
213	瓦質土器	焙烙	(35.1)	4.4	(32.4)	CIK	20	普通	灰白	SK12	砂目底 内面刻印「岩[] / 小泉」	40-3
214	土師質土器	甕	(61.3)	[39.0]	—	ADE	50	良好	明赤褐	SK12	真塗系 一部煤付着	
215	磁器	碗	(7.0)	5.2	3.5	—	40	良好	白	SK13	SK198 接合 肥前系 麻軸 外面染付(墨弾き)	40-4
216	磁器	坏	(5.9)	(2.7)	2.6	—	70	良好	白	SK13	瀬戸美濃系 麻軸・染付 上下接点ない破片から図上復元	
217	陶器	瓶掛	—	[15.9]	(22.4)	I	35	良好	灰白	SK13	SK120 接合 瀬戸美濃系 緑軸 外面藍文・底部酸化粧・煎焼痕 内面目跡	
218	磁器	坏	(6.8)	3.3	2.5	—	40	良好	灰白	SK13	京都信楽系 麻軸 外面土絵付 胎土磁質	40-5
219	麻軸土器	灯明皿	(8.9)	2.1	3.6	DEX	100	普通	橙	SK13	透明軸 口唇部わずかに煤付着	40-6
220	磁器	碗	(8.7)	4.4	3.0	—	70	良好	白	SK16	肥前系 麻軸 外面染付 強く被熱	40-10
221	磁器	碗	(8.0)	4.2	(3.2)	—	40	良好	白	SK16	肥前系 麻軸 外面染付 強く被熱	40-10
222	磁器	碗	8.7	4.3	3.4	—	80	良好	灰白	SK16	肥前系 麻軸 外面染付 強く被熱	40-11
223	磁器	碗	(9.5)	5.0	(4.1)	—	30	良好	白	SK16	肥前系 麻軸 外面染付 強く被熱	
224	磁器	碗	(9.2)	[5.1]	—	—	40	良好	白	SK16	肥前系 麻軸 外面染付 強く被熱・黒化	
225	磁器	碗	9.6	[5.1]	—	—	65	良好	灰白	SK16	肥前系 麻軸 外面染付 強く被熱 同文別個体1以上有	41-1
226	磁器	碗	9.4	5.1	3.7	—	75	良好	灰白	SK16	肥前系 麻軸 外面染付 被熱	41-1
227	磁器	碗	11.6	5.5	4.1	—	60	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 被熱 同文別個体5有	40-7
228	磁器	碗	11.6	5.7	4.2	—	80	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 被熱	40-7
229	磁器	碗	11.7	6.2	(4.0)	—	60	良好	白	SK16	SK10 接合 肥前系 麻軸・染付 強く被熱	40-7
230	磁器	碗	(12.0)	5.9	(3.8)	—	35	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 強く被熱	40-7
231	磁器	碗	11.7	5.8	(4.2)	—	50	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 強く被熱	40-7
232	磁器	碗	7.4	[2.5]	—	—	65	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 被熱	
233	磁器	碗	(7.4)	[2.9]	—	—	5	良好	白	SK16	肥前系 麻軸 外面色絵(赤他)	41-2
234	磁器	碗	(8.0)	4.0	2.5	—	50	良好	白	SK16	肥前系 麻軸 外面染付 同文別個体1 被熱	41-3
235	磁器	碗	(8.0)	4.3	(3.2)	—	40	良好	灰白	SK16	肥前系 麻軸 外面染付 被熱	41-4
236	磁器	碗	10.2	5.4	3.7	—	65	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 被熱	41-5
237	磁器	碗	9.6	[4.3]	—	—	75	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 被熱	41-6
238	磁器	碗	(15.8)	6.8	(4.8)	—	35	良好	白	SK16	肥前系 麻軸 内面染付 被熱	41-7
239	磁器	碗	(8.0)	[5.3]	—	—	50	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 被熱	41-8
240	磁器	碗	(7.8)	6.4	(3.8)	—	25	良好	白	SK16	肥前系 麻軸(外面青緑軸) 内面染付 被熱	
241	磁器	碗	(8.0)	6.0	3.8	—	70	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 強く被熱 同文別個体4	40-8
242	磁器	碗	8.0	6.3	3.8	—	80	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 強く被熱	40-8
243	磁器	碗	7.8	6.4	4.1	—	60	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 強く被熱	40-8
244	磁器	碗	(8.0)	6.2	4.0	—	60	良好	白	SK16	肥前系 麻軸・染付 強く被熱	40-8

番号	種別	器種	口径	器高	口径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
245	磁器	碗	(7.2)	[5.2]	—	—	45	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 被熱	
246	磁器	碗	(7.9)	[4.5]	—	—	60	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 被熱	41-9
247	磁器	猪口	7.0	5.9	5.0	—	75	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱 同文別個体3	41-10
248	磁器	猪口	7.4	6.0	4.8	—	70	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 被熱	41-10
249	磁器	猪口	(7.2)	6.1	4.8	—	55	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	41-10
250	磁器	猪口	(7.4)	6.2	(4.8)	—	50	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 被熱	41-10
251	磁器	碗	—	[5.3]	(5.2)	—	40	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	41-11
252	磁器	猪口	7.4	6.0	4.6	—	80	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱 同文別個体8	41-12
253	磁器	猪口	7.6	5.7	—	—	70	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	41-12
254	磁器	猪口	7.6	5.9	5.0	—	60	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	41-12
255	磁器	猪口	7.3	5.7	(4.7)	—	60	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	41-12
256	磁器	猪口	(7.4)	6.0	(4.6)	—	45	良好	灰白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	41-12
257	磁器	猪口	(7.6)	6.0	(4.6)	—	40	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	41-12
258	磁器	猪口	(7.5)	6.0	(4.7)	—	35	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	41-12
259	磁器	猪口	(7.3)	[4.5]	—	—	45	良好	灰白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	41-12
260	磁器	猪口	—	[4.1]	(4.8)	—	45	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	41-12
261	磁器	皿	10.2	2.0	5.6	—	55	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 強く被熱	42-1
262	磁器	皿	(10.2)	2.1	5.8	—	55	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 被熱	42-1
263	磁器	皿	(10.2)	2.2	5.7	—	45	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 被熱 同文別個体5有	42-1
264	磁器	皿	10.2	2.0	6.5	—	80	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 強く被熱	42-2
265	磁器	皿	(10.2)	2.0	(6.4)	—	45	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 強く被熱 漆継痕	42-2
266	磁器	皿	13.2	3.6	7.6	—	80	良好	白	SK16	SK64 接合 肥前系 施軸・染付 強く被熱	41-13
267	磁器	皿	13.8	4.1	7.6	—	70	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 強く被熱	42-3
268	磁器	皿	13.6	4.2	8.0	—	65	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 被熱 同文別個体4以上	42-3
269	磁器	皿	14.1	4.1	7.9	—	80	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 強く被熱	42-3
270	磁器	皿	12.6	3.8	7.7	—	80	良好	灰白	SK16	SK161 接合 肥前系 施軸・染付 強く被熱	42-4
271	磁器	皿	12.4	3.8	7.5	—	75	良好	灰白	SK16	SK161 接合 肥前系 施軸・染付 強く被熱 同文別個体3有	42-4
272	磁器	皿	(12.8)	3.7	7.5	—	60	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 強く被熱	42-4
273	磁器	皿	(13.4)	3.5	7.3	—	80	良好	白	SK16	SK161 接合 肥前系 施軸・染付 強く被熱	42-4
274	磁器	皿	13.6	3.9	7.7	—	70	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 被熱	42-4
275	磁器	皿	—	2.1	5.0	—	90	良好	白	SK16	肥前系 施軸 内面染付 被熱 最大径(9.6)	42-5
276	磁器	皿	9.2	2.1	4.7	—	75	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 被熱 同文別個体5以上	42-5
277	磁器	皿	—	2.3	4.8	—	60	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 被熱 最大径(9.6)	42-5
278	磁器	皿	—	2.1	4.7	—	45	良好	白	SK16	SK10 接合 肥前系 施軸 内面染付 被熱 同文別個体3以上有	42-5
279	磁器	皿	(9.8)	2.2	(4.8)	—	35	良好	白	SK16	肥前系 施軸・染付 被熱	42-5
280	磁器	皿	(20.9)	3.0	(12.8)	—	45	良好	灰	SK16	SK161 接合 肥前系 施軸・染付 強く被熱	42-6
281	磁器	皿	(25.8)	4.7	(15.6)	—	70	良好	白	SK16	SK161 接合 肥前系 施軸・染付 被熱	42-7
282	磁器	蓋	—	[2.2]	(8.3)	—	30	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 被熱・煤付着 最大径(9.2)	
283	磁器	蓋物	(8.6)	[4.6]	—	—	50	良好	灰白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 被熱・煤付着	
284	磁器	蓋物	(6.8)	(7.4)	(4.0)	—	35	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 被熱 上下接点ない破片から図上復元	
285	磁器	香炉	(14.4)	(6.5)	(5.8)	—	20	良好	灰白	SK16	SK64 に同一個体 肥前系 外面青磁軸 被熱 上下接点ない破片から図上復元	
286	磁器	德利	—	[7.3]	5.7	—	75	良好	白	SK16	肥前系 外面施軸・染付 被熱 同文別個体1	
287	磁器	德利	—	[22.4]	(8.8)	—	50	良好	白	SK16	肥前系 外面施軸・染付 被熱	42-8
288	磁器	仏飯器	6.5	6.2	(3.8)	—	85	良好	白	SK16	肥前系 施軸 外面染付 被熱	42-9
289	陶器	碗	10.0	6.7	4.0	K	70	良好	にぶい・黄橙	SK16	肥前系 灰軸(兵器手)	43-1
290	陶器	灯明皿	—	[2.1]	4.8	IK	40	良好		SK16	瀬戸美濃系 柿軸・重燒痕 被熱・黒化	
291	陶器	皿	—	[2.8]	(14.0)	IK	15	良好	灰白	SK16	瀬戸美濃系 灰軸 内面目跡2 遺存 被熱	
292	陶器	鉢	22.0	5.7	10.1	EK	75	良好	灰白	SK16	瀬戸美濃系 灰軸 内面目跡4 遺存 被熱	43-2
293	陶器	鉢	—	[7.2]	—	AIK	5	良好	灰白	SK16	瀬戸美濃系 灰軸 室内付着物 口縁歪まず	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	造構	備考	図版
294	陶器	片口鉢	(16.6)	8.8	(8.0)	EIK	30	良好	灰白	SK16	瀬戸美濃系 灰軸 内面日跡 被熱	
295	陶器	鉢	(20.8)	6.0	(8.2)	GI	40	良好	灰	SK16	SK16) 接合 瀬戸美濃系 灰軸 強く被熱	43-3
296	陶器	こね鉢	(20.2)	[10.1]	—	IK	20	良好	灰白	SK16	SK64 接合 瀬戸美濃系 灰軸 強く被熱	
297	陶器	こね鉢	(26.0)	[8.6]	—	HIK	15	良好	灰	SK16	SK64 接合 瀬戸美濃系 灰軸 被熱	
298	陶器	こね鉢	30.1	15.8	15.8	IK	80	良好	灰白	SK16	瀬戸美濃系 灰軸・緑軸流掛 被熱	43-4
299	陶器	不明	—	[5.1]	(19.2)	EIK	35	良好	灰白	SK16	瀬戸美濃系 灰軸 内面日跡 被熱	43-5
300	陶器	甕	(12.0)	[6.1]	—	IK	15	良好	灰白	SK16	瀬戸美濃系 灰軸	43-6
301	陶器	甕	(24.2)	[17.2]	—	K	40	良好	黄灰	SK16	SK64 接合 瀬戸美濃系 灰軸 外面緑軸流掛 強く被熱・赤化	
302	陶器	火鉢	(13.5)	9.5	11.0	DI	45	良好	灰白	SK16	瀬戸美濃系 鉄軸 強く被熱	43-7
303	陶器	播鉢	25.2	8.0	9.0	IK	80	良好	楊灰	SK16	瀬戸美濃系 施軸 内面日跡 被熱	43-8
304	陶器	盥	(19.8)	12.0	(8.0)	IK	35	良好	灰	SK16	柿輪 内面日跡 被熱	
305	陶器	灯火具	(7.2)	[3.8]	(6.0)	IK	50	良好	灰白	SK16	瀬戸美濃系 灰軸・口唇部拭き取り	
306	陶器	薬壺	—	[3.2]	—	IK	30	良好	灰白	SK16	瀬戸美濃系か 鉄軸 胎土佐器質	
307	陶器	徳利	2.2	(15.8)	6.7	IK	50	良好	灰白	SK16	瀬戸美濃系 外面鉄軸 被熱 上下接点のない 横片から復元	
308	瓦質土器	火酒壺	(17.4)	24.5	(17.2)	CIK	45	普通	灰白	SK16	外面ケズリ後ミガキ 雄ノ 全体被熱し歪む	43-9
309	瓦質土器	焙烙	(36.9)	5.4	(34.6)	CHIK	35	良好	にぶい黄橙	SK16	底部シワ状痕 被熱	43-10
310	瓦質土器	焙烙	(34.8)	4.9	(32.8)	AHIK	15	普通	にぶい黄橙	SK16	底部シワ状痕 二次穿孔計4 被熱・赤変	43-11
311	土師質土器	焙烙	(31.2)	[4.2]	(31.6)	AIK	15	普通	灰黄褐	SK16	砂目底 被熱・黒化	
312	かわらけ	小皿	(9.1)	1.6	5.4	CEHK	50	普通	灰白	SK16	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	43-12
313	土師質土器	焼塩壺か	—	[1.7]	(4.0)	AHIK	25	普通	灰黄	SK16	底部糸切痕 被熱・黒化	
314	瓦質土器	五燈	(15.8)	4.3	(17.0)	AIK	30	普通	灰	SK16	砂目底 外面ミガキ 内面煤付着	43-14
315	磁器	香炉	—	[3.8]	6.1	I	60	良好	灰白	SK18	肥前系 外面青磁軸	
316	磁器	香炉	—	[1.6]	5.2	—	90	良好	灰白	SK18	肥前系 外面青磁軸	
317	陶器	碗	(9.0)	5.7	(3.9)	—	30	良好	灰白	SK18	京都信楽系 施軸 被熱・煤付着	
318	陶器	灯火具	—	[7.2]	9.2	EIK	80	良好	楊灰	SK18	鉄軸 底部糸切痕・煤多量に付着	44-1
319	陶器	播鉢	—	[7.4]	—	DE	5	良好	赤橙	SK18	堺石系か 内面日跡 被熱	
320	陶器	播鉢	—	[4.2]	—	DE	5	良好	にぶい橙	SK18	堺明石系 砂目底・外周ケズリ 内面日跡 被熱	
321	陶器	播鉢	—	[4.0]	—	E	5	良好	にぶい赤褐	SK18	堺明石系 砂目底・外周ケズリ 内面日跡 被熱	
322	陶器	甕	—	[4.5]	—	EHIK	5	良好	灰黄	SK18	鉄化粧・施文 施軸 把手欠失	
323	陶器	甕	—	[4.5]	—	EHIK	5	良好	灰黄	SK18	鉄化粧・施文 施軸 把手欠失	
324	陶器	播鉢	—	[7.1]	—	E	5	良好	赤	SK18	堺明石系か 内面日跡 被熱	
325	かわらけ	小皿	(12.2)	2.2	6.2	AHIK	40	普通	にぶい橙	SK18	底部糸切痕 (左) 被熱・口縁黒化 胎土粉質	
326	磁器	碗	9.7	5.1	(4.0)	—	95	良好	白	SK23	肥前系 施軸 外面染付	
327	陶器	皿	(20.4)	[1.7]	—	IK	10	良好	灰白	SK23	施軸 軟質	
328	瓦質土器	甕	—	[14.8]	31.0	CDEPH	55	普通	にぶい黄橙	SK23	底部シワ状痕 やや酸化変焼成	
329	磁器	碗	(9.4)	[3.3]	—	—	5	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 外面色絵 被熱	
330	磁器	段重	—	[2.3]	—	—	5	良好	白	SK25	肥前系 施軸 外面染付・色絵 被熱	44-2
331	磁器	碗	7.6	4.9	(3.0)	—	85	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 被熱 同文別個体3有	
332	磁器	碗	(11.6)	[4.1]	—	—	25	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 強く被熱	
333	磁器	碗	(9.6)	[3.0]	—	—	25	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 焼継痕 強く被熱	
334	磁器	碗	(10.5)	[4.4]	—	—	20	良好	白	SK25	瀬戸美濃系 施軸・染付 強く被熱	
335	磁器	皿	—	[2.0]	(8.4)	—	15	良好	白	SK25	肥前系 施軸 内面染付 焼継痕 (赤) 弱く被熱	44-3
336	磁器	皿	(10.5)	2.5	(5.9)	—	15	良好	白	SK25	肥前系 施軸 内面染付 被熱 同文破片複数	
337	磁器	蓋	(4.3)	3.4	10.0	—	100	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 被熱・煤付着	
338	磁器	皿	—	[2.9]	8.6	—	45	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 高台内側痕 同文破片複数	
339	磁器	皿	(14.5)	4.0	(9.2)	—	15	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 弱く被熱	
340	磁器	皿	—	[2.5]	(9.6)	—	40	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 焼継印 強く被熱	
341	磁器	皿	22.4	3.3	13.2	—	95	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 高台内ハリ支痕4	44-4
342	磁器	皿	21.8	2.9	12.0	—	80	良好	灰白	SK25	肥前系 施軸・染付 ハリ支痕4 強く被熱	44-5

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
343	磁器	皿	—	[3.9]	(15.7)	—	45	良好	白	SK25	肥前系 施軸 内面染付 ハリ支軸 強く被熱	44-6
344	磁器	皿	(21.9)	3.5	(13.0)	—	40	良好	白	SK25	肥前系 施軸 内面染付 強く被熱	44-7
345	磁器	皿	(22.9)	3.2	(13.8)	—	45	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 強く被熱	
346	磁器	鉢	(20.8)	(12.1)	(11.2)	—	45	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 強く被熱 焼継痕 上下 接点無い破片から図上復元	44-8
347	磁器	鉢	(15.9)	[5.7]	—	—	25	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 口紅 被熱	
348	磁器	鉢	(13.4)	[4.2]	—	—	10	良好	白	SK25	肥前系 施軸・染付 被熱	
349	磁器	蓋	—	[1.8]	(8.9)	—	25	良好	白	SK25	肥前系 施軸 外面染付 最大径 (10.3) 強く被熱	
350	磁器	蓋	—	[2.0]	(8.3)	—	45	良好	白	SK25	肥前系 施軸 外面染付 最大径 (9.4) 強く被熱	
351	磁器	蓋	—	[2.9]	(3.6)	—	5	良好	白	SK25	肥前系 施軸 外面染付・色絵 (赤・黄) 被熱	44-9
352	磁器	蓋	—	[3.0]	(14.3)	—	15	良好	白	SK25	肥前系 施軸 外面染付・色絵 最大径 (16.0)	44-10
353	磁器	蓋	—	[3.2]	(13.4)	—	40	良好	白	SK25	肥前系 施軸 外面染付 被熱 最大径 (15.7)	44-11
354	磁器	蓋物	(14.4)	[4.5]	—	—	30	良好	白	SK25	肥前系 施軸 外面染付 被熱	
355	磁器	合子	(7.0)	2.4	(4.8)	—	40	良好	白	SK25	肥前系 施軸 外面染付 外面一部赤色物質付着 被熱	
356	磁器	灰落しか	(4.7)	[3.8]	—	—	30	良好	白	SK25	肥前系 施軸 外面染付 強く被熱	
357	磁器	香炉	(9.1)	[6.2]	—	—	35	良好	灰白	SK25	肥前系 青磁軸 強く被熱 一部発泡	
358	磁器	香炉	(11.6)	5.7	4.2	—	30	良好	白	SK25	肥前系 外面青磁軸 被熱	
359	磁器	香炉	—	(5.9)	(9.0)	—	10	良好	白	SK25	肥前系 外面施軸 (摺磨軸単色) 被熱 上下 接点無い破片から図上復元	44-12
360	磁器	水注	(8.2)	(5.3)	—	—	20	良好	白	SK25	肥前 (平戸) 系 外面施軸・鉄軸・施文 被熱 上下接点無い破片から図上復元	44-13
361	磁器	油垂	—	[4.3]	(6.2)	—	30	良好	白	SK25	肥前系 外面施軸・色絵 被熱	45-1
362	磁器	壺	(8.4)	[3.8]	—	—	10	良好	白	SK25	肥前系 施軸 外面染付 被熱	
363	磁器	盃台	(4.4)	[1.7]	—	—	40	良好	白	SK25	肥前系 施軸 外面染付	45-2
364	磁器	水瀧	—	[2.8]	—	—	10	良好	白	SK25	肥前系 外面施軸・染付・鉄軸掛分・施文 被熱	45-3
365	磁器	水瀧	—	[3.7]	—	—	—	良好	白	SK25	肥前系 外面施軸・隔刻状施文 把手状	45-3
366	磁器	水瀧	—	—	—	—	—	良好	白	SK25	肥前系 外面施軸・隔刻状施文 遺存高上 [2.6] 下 [1.3] 365 と同一個体	45-3
367	陶器	碗	(9.6)	4.8	3.2	K	30	良好	灰白	SK25	京都信楽系 施軸 外面鉄軸 被熱	
368	陶器	碗	(8.2)	[4.9]	—	IK	20	良好	灰白	SK25	京都信楽系 施軸 強く被熱	
369	陶器	碗	(13.2)	[3.8]	—	I	35	良好	灰	SK25	萩焼 薬師軸・鉄軸流掛 被熱	
370	陶器	碗小	—	[2.2]	—	IK	5	良好	灰	SK25	萩焼 薬師軸 内面鉄軸流掛 被熱	
371	陶器	皿	—	[1.5]	—	HIK	5	良好	にぶい・黄橙	SK25	施軸土器質 施軸 外面しのぎ状文除刻 被熱・変色	45-4
372	陶器	蓋物	(8.8)	5.3	6.4	I	75	良好	灰黄	SK25	京都信楽系か 外面灰軸 内面焼痕 被熱	
373	陶器	水注	—	[2.5]	(6.6)	HIK	25	良好	灰	SK25	京都信楽系か 外面施軸	
374	陶器	火鉢	(16.2)	[12.0]	—	G	35	良好	灰白	SK25	瀬戸美濃系 灰軸・内面拭き取り 外面緑釉流掛・兵須給 被熱	
375	陶器	蓋	—	[1.8]	(12.6)	IK	15	良好	灰黄褐	SK25	瀬戸美濃系か 外面鉄軸 被熱	
376	陶器	蓋	(7.5)	[1.9]	—	—	35	良好	灰黄	SK25	外面灰軸 被熱 最大径 (10.2)	
377	陶器	土瓶	—	[1.4]	—	HIK	10	良好	灰黄	SK25	外面鉄軸 強く被熱 378, 379 と同一個体	
378	陶器	土瓶	—	[4.8]	—	HIK	—	良好	灰黄	SK25	外面鉄軸・イッチン給付 強く被熱	
379	陶器	土瓶	—	[4.7]	—	HIK	—	良好	灰黄	SK25	外面鉄軸・イッチン給付 強く被熱	
380	陶器	土瓶	(5.6)	[9.6]	—	IK	50	普通	灰白	SK25	外面施軸・緑釉流掛か (赤変) 強く被熱	45-5
381	瓦質土器	火鉢	(30.0)	[3.5]	—	EGIK	10	普通	灰白	SK25	外面胡粉状の塗布物・ミガキ	45-6
382	かわらけ	小皿	8.2	2.5	4.2	AHIK	100	普通	にぶい・橙	SK25	底部糸切痕 (左) 被熱して激しく歪む	45-7
383	瓦質土器	蓋小	—	2.7	(13.1)	CI	50	普通	褐色	SK25	砂目短 短径 9.1 × 復元長 (13.4)	45-8
384	磁器	坏	(8.1)	4.0	3.0	—	60	良好	灰白	SK26	SK92 接合 肥前系 施軸・色絵 (赤・茶)	
385	磁器	碗	(9.8)	[6.0]	—	—	30	良好	白	SK26	肥前系 施軸 外面染付 被熱	
386	陶器	水注	—	[8.3]	(6.6)	IK	15	良好	灰白	SK26	SK30 接合 京都信楽系 施軸 外面鉄軸 被熱	
387	陶器	水瀧	32.0	23.8	(17.8)	EIK	80	良好	灰白	SK26	SK32/144 接合 瀬戸美濃系 灰軸 外面施文・緑釉流掛 内面日跡 被熱	